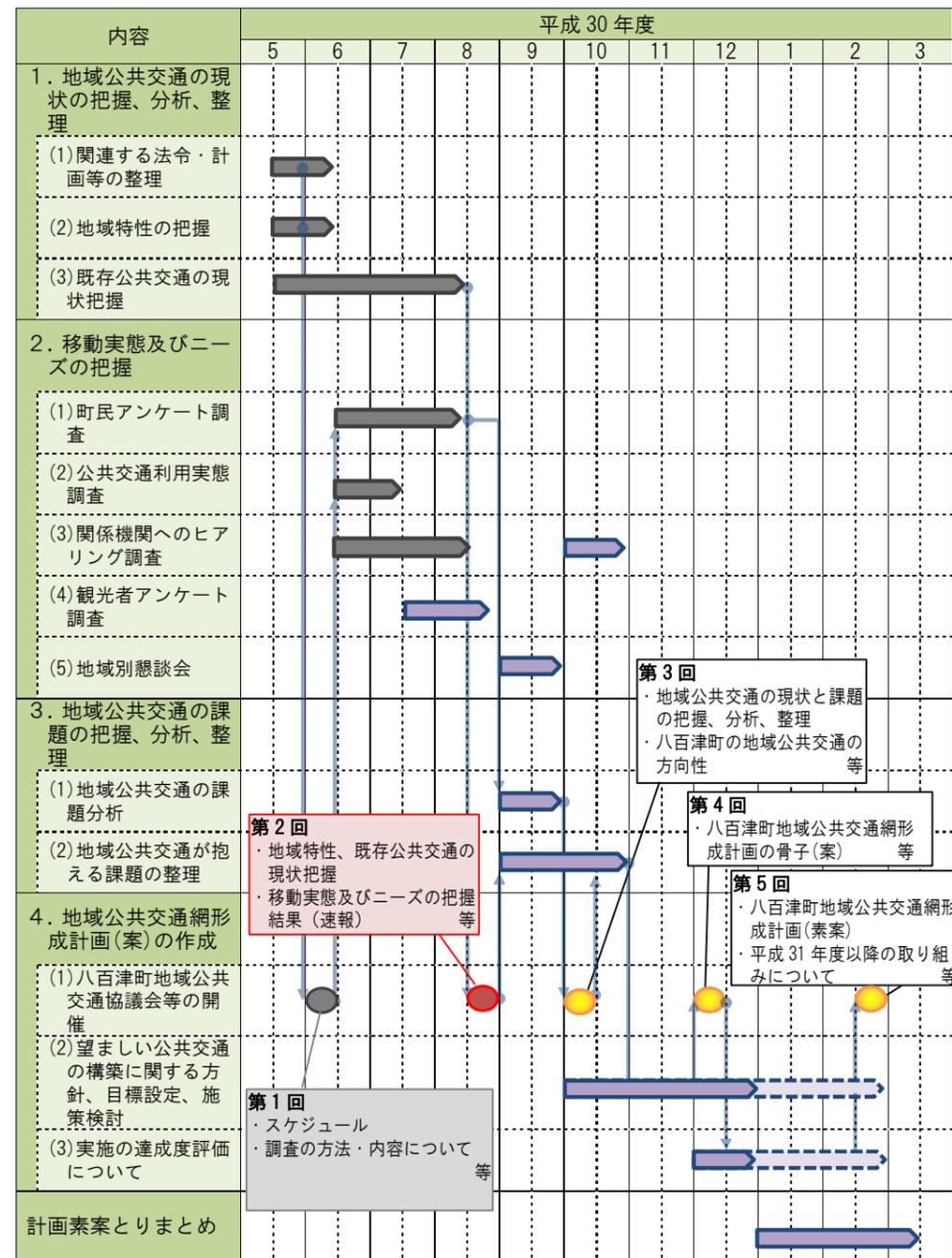


## 第2回 地域公共交通協議会 資料

### 1 本日の会議内容とスケジュールの確認

#### ■第2回会議の目的

- ・八百津町の現状と各種調査結果による町民・利用者のニーズ等の確認
- ・今後の課題把握・分析・整理に向けた意見交換



図：スケジュール

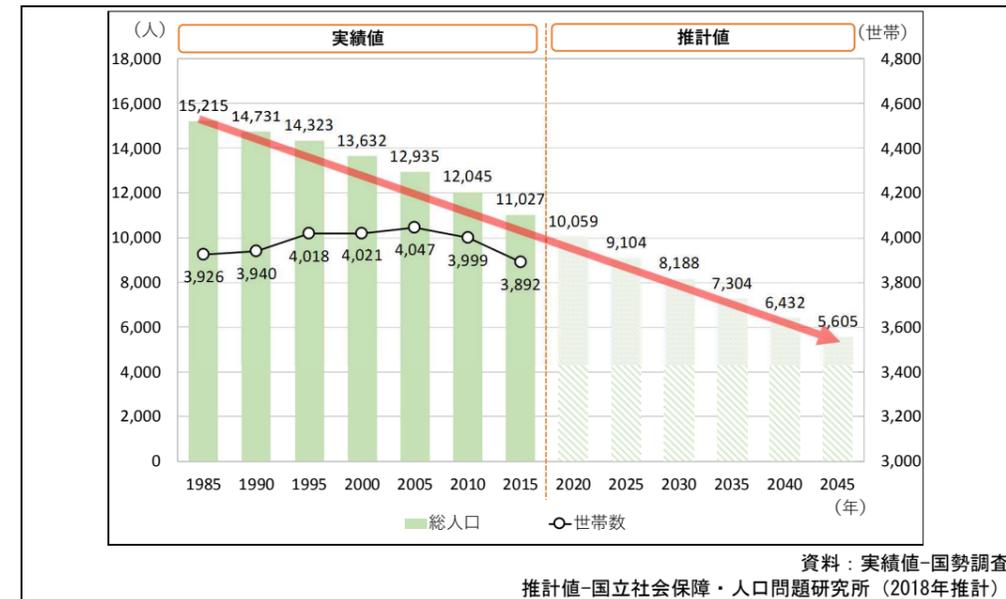
### 2 八百津町の現状

(詳細は「参考資料1」参照)

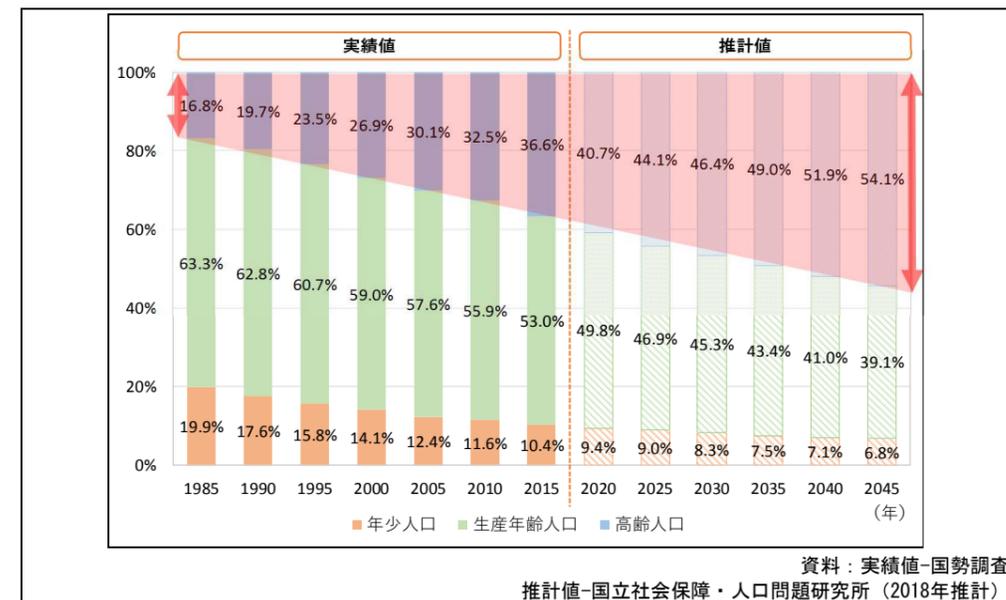
#### 2-1 地域特性

##### (1) 人口

人口減少・少子高齢化が進んでおり、今後もその傾向は続くことが見込まれる



図：人口の推移と予想



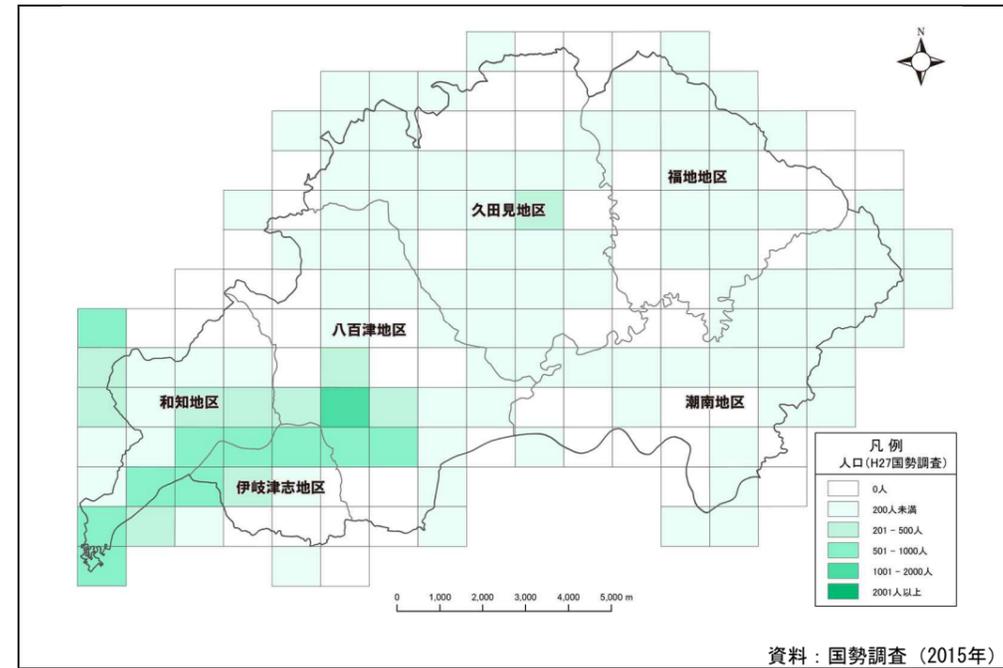
図：人口構成比の推移と予想

町の西部で減少割合が少なく、東部の山間部で減少割合が多い

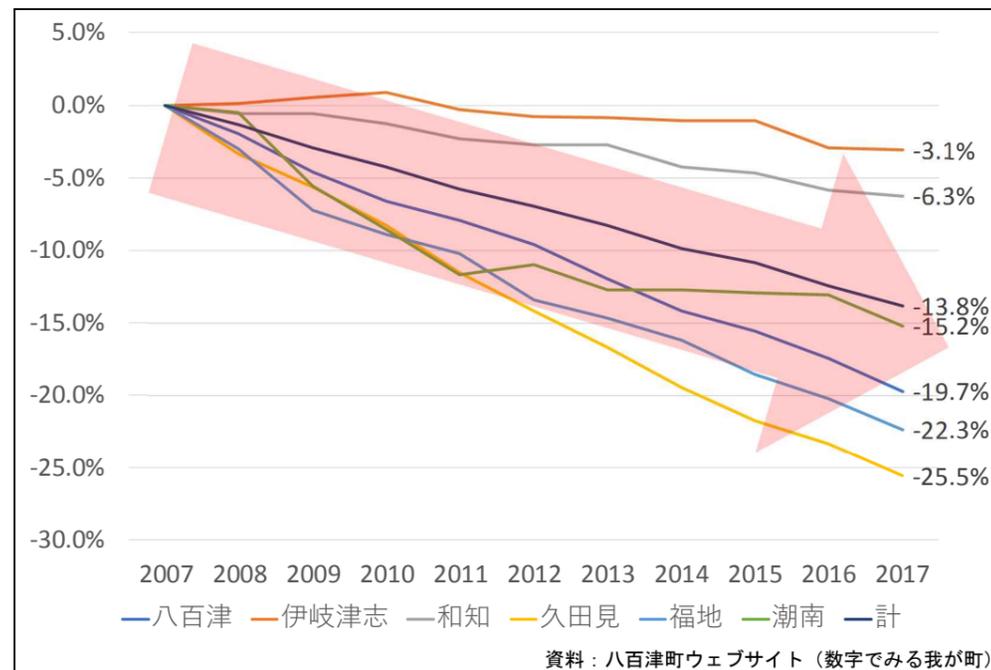


図：地区別人口の推移

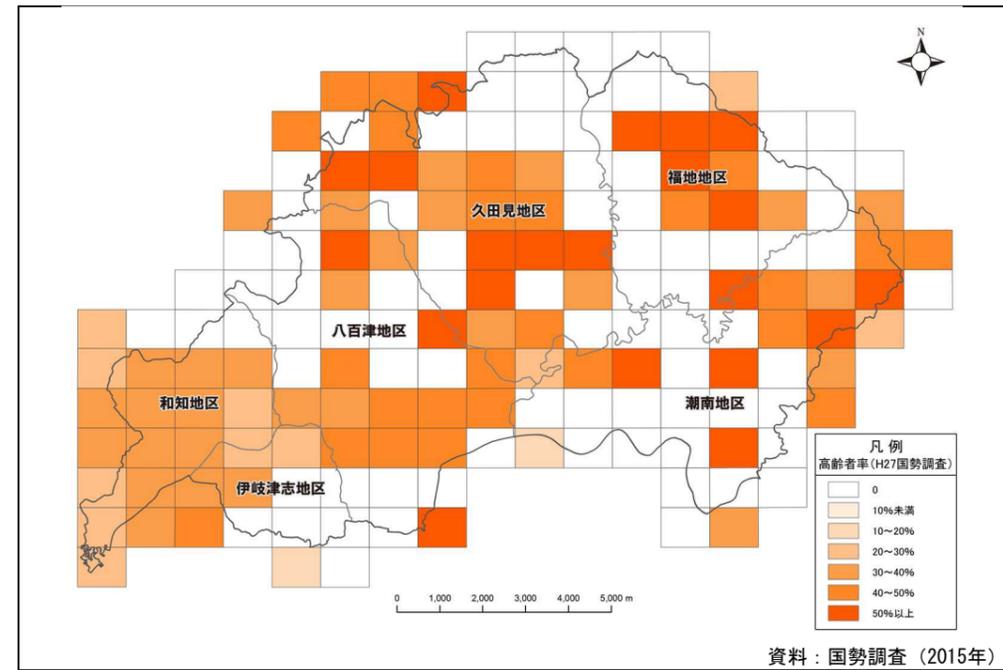
人口は町の西部で多く、東部の山間部で過疎化・高齢化が進んでいる



図：人口の分布状況



図：地区別人口の減少率（2007年比）



図：高齢化率の分布状況

(2) 人の動き

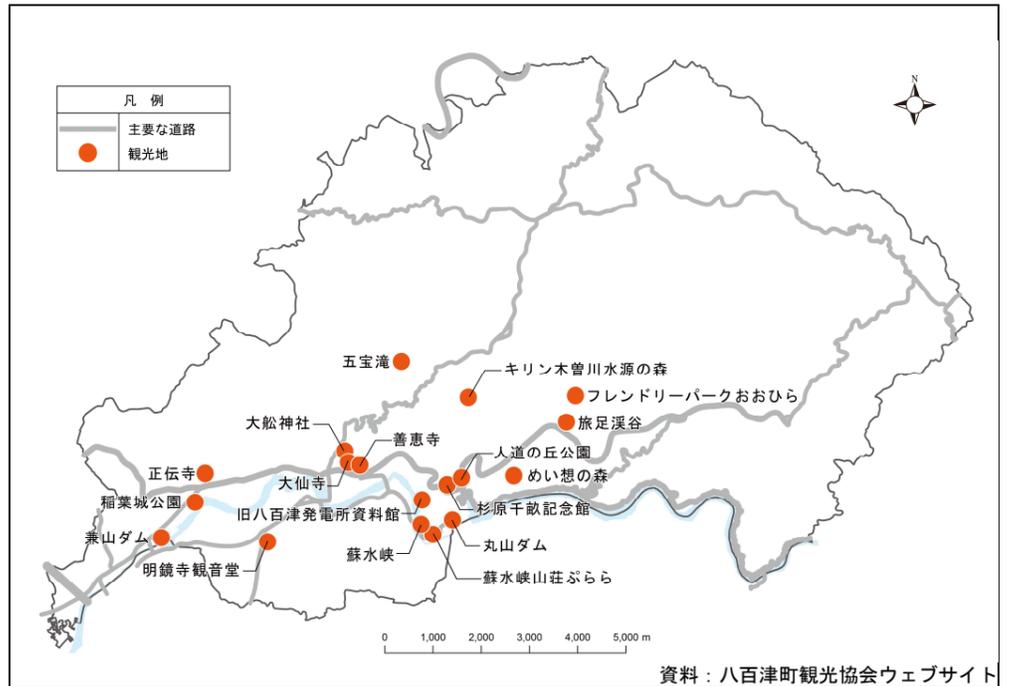
流出超過であり、流入・流出ともに可児市が最も多い



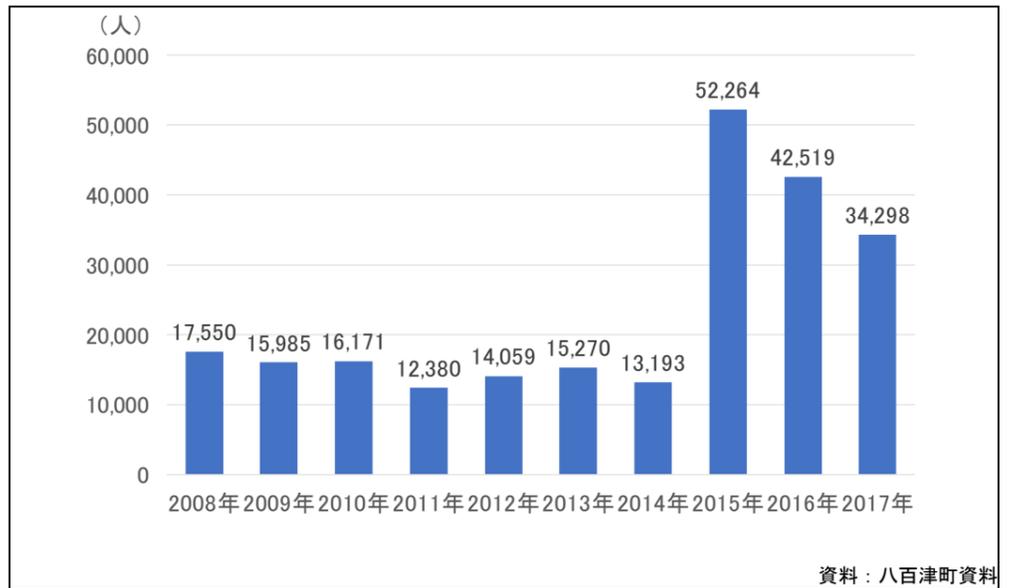
図：人口流動の状況（就業者・通学者合計）

(3) 観光

観光地は南西部に集中 杉原千畝記念館は映画をきっかけに入館者数が増加



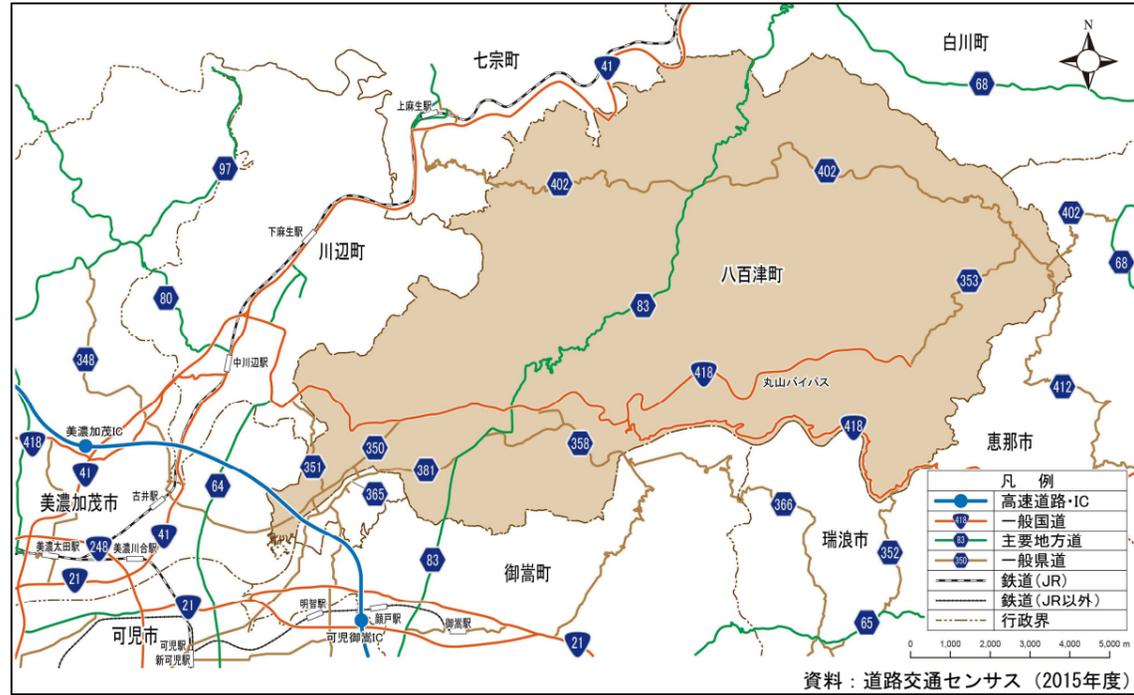
図：主な観光地



図：杉原千畝記念館入館者数の推移

(4) 道路

国道・県道で主要な幹線道路網を構築



図：広域道路網

(5) 自動車保有台数

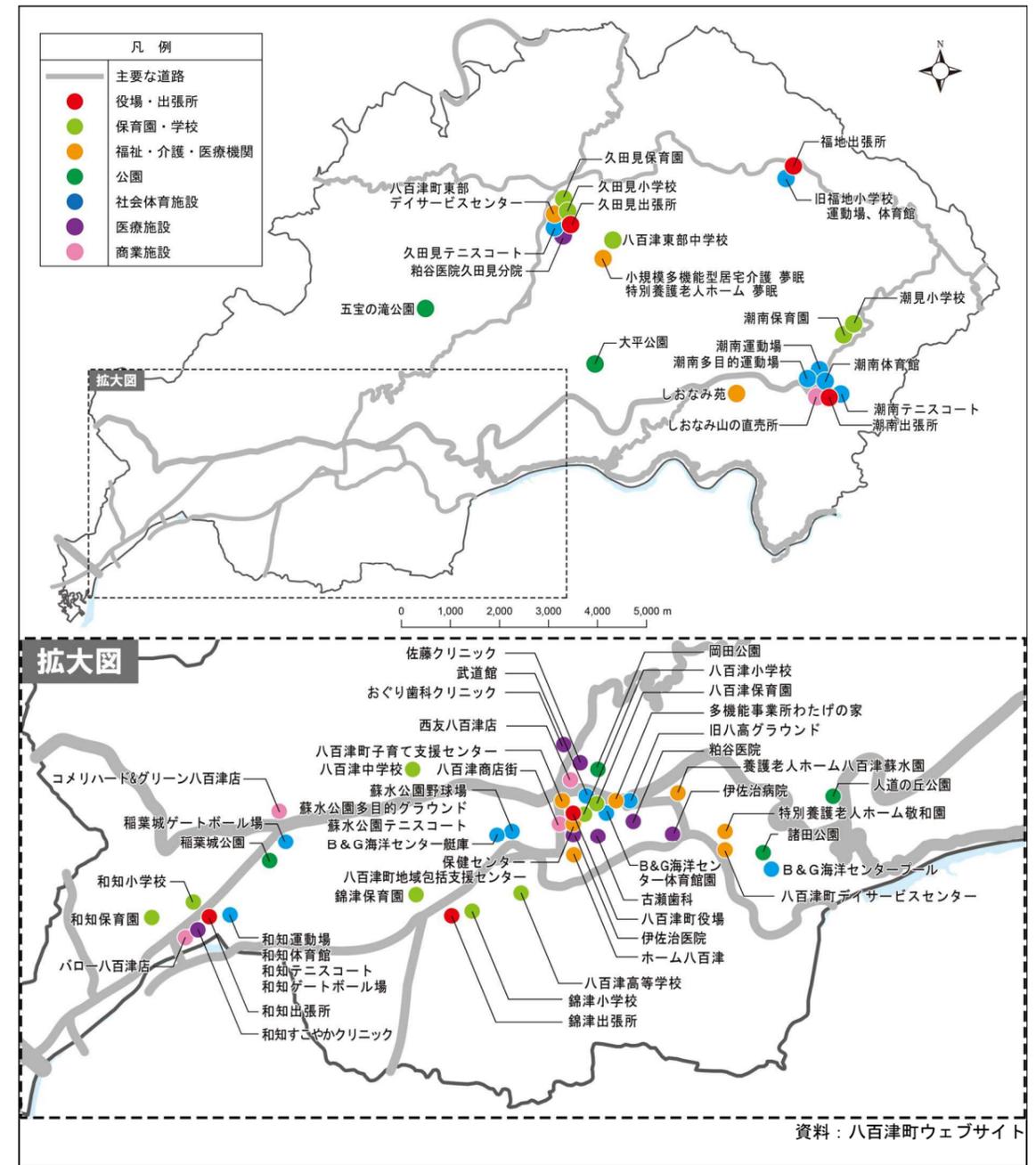
全体では減少しているが軽自動車が増加 一人あたり保有数も増加



図：自動車保有台数の推移

(6) 主要施設

八百津地区の中心に多く立地、各地区にも日常生活に必要な施設が立地

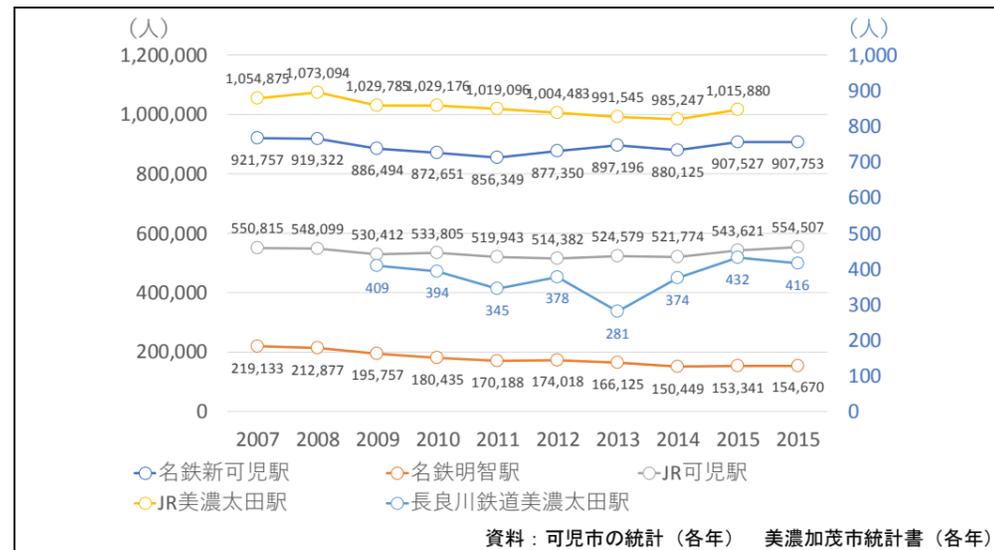


図：主要施設の分布状況

## 2-2 既存公共交通の現状

### (1) 鉄道

町内からバスで明智駅、可児駅・新可児駅、美濃太田駅等に接続



図：駅の乗車人員の推移

### (2) バス

土・休日は運行路線・便数が大きく減少

表：バスの運行状況一覧

種別	路線 [区間]	運行日	便数	始発・終発時間
自主運行バス 【コミュニティバス802】	福地・杣沢・上飯田線 [下落合-ピアゴ川辺店]	平日	上り:4便 <sup>※1</sup> 下り:4便 <sup>※1</sup>	6:15・15:40 7:05・17:10
		土曜・休日	—	—
	潮南・上飯田線 [篠原-ピアゴ川辺店]	平日	上り:4便 <sup>※2</sup> 下り:4便 <sup>※2</sup>	6:16・15:12 7:42・17:30
		土曜・休日	—	—
	北山・久田見線 [白鬚神社前-八百津FC]	平日	上り:4便 下り:4便	6:20・16:00 8:40・17:30
		土曜・休日	—	—
自主運行バス 【YAOバス】	[八百津FC-明智駅]	平日	上り:21便 <sup>※3</sup> 下り:21便 <sup>※3</sup>	6:02・20:51 6:55・21:21
		土曜・休日	上り:17便 下り:17便	6:20・19:50 6:52・20:21
路線バス 【東鉄バス】	八百津線 (美濃太田発着系統) [八百津FC-美濃太田]	平日	上り:6便 <sup>※4</sup> 下り:6便 <sup>※4</sup>	7:05・15:50 7:45・17:30
		土曜・休日	上り:3便 下り:3便	9:30・15:25 10:15・16:05
	八百津線 (可児駅前発着系統) [八百津FC-可児駅前]	平日	上り:2便 <sup>※5</sup> 下り:2便 <sup>※5</sup>	9:10・16:25 8:15・14:00
		土曜・休日	—	—
自主運行バス (恵那市)	飯地線 [篠原-河合]	平日	上り:1便 下り:1便	7:12 17:26
		土曜・休日	—	—

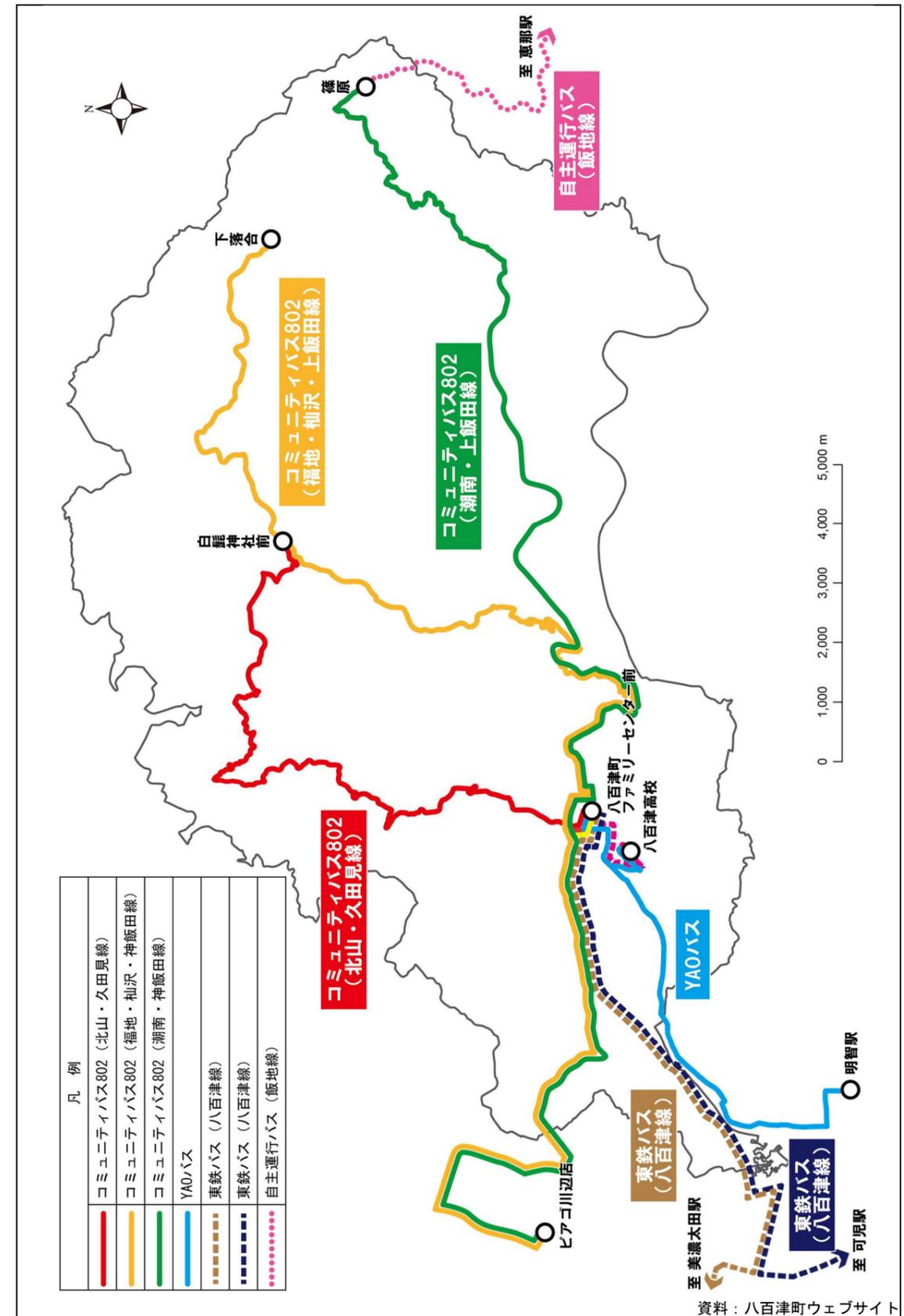
※1：うち2便は下落合-八百津FC

※2：うち2便は篠原-八百津FC

※3：うち2便は、八百津高校前-明智駅

※4：うち1便は、美濃太田-八百津高校前

※5：うち1便は、可児駅前-可茂特別支援学校前（登校日のみ運行）

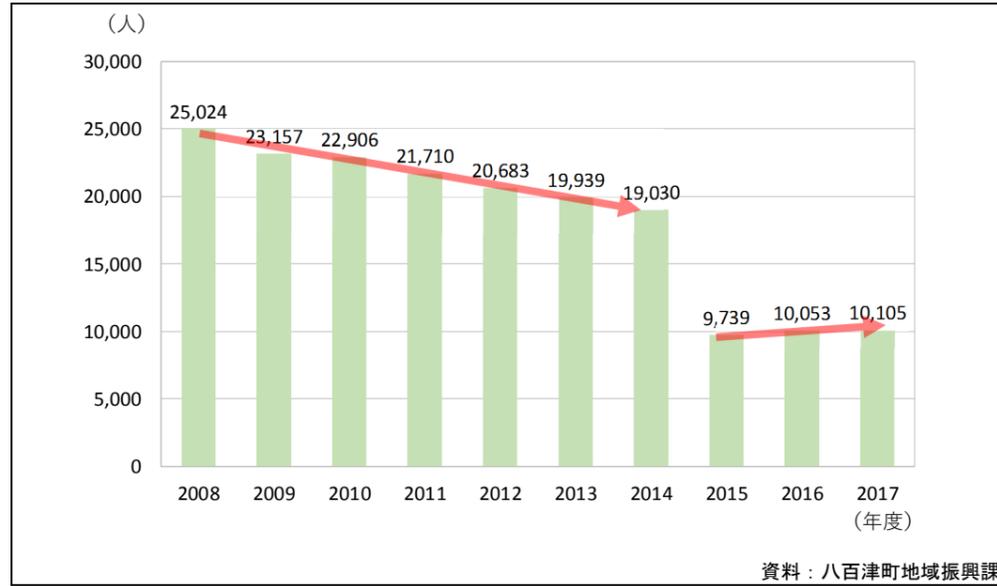


図：バス路線図

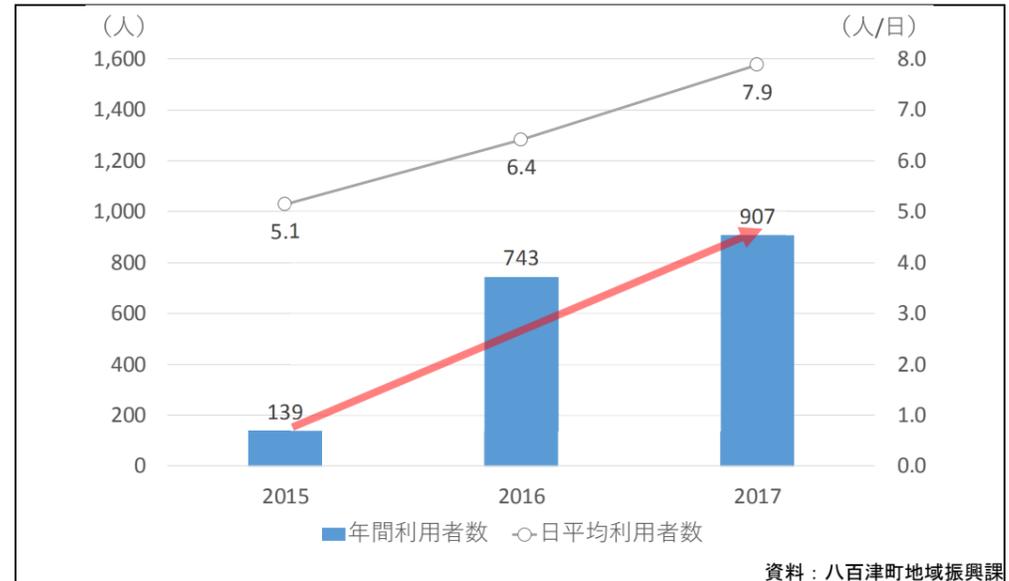
(3) タクシー

コミュニティバス802は約1万人/年 YAOバスは約8万人/年の利用者

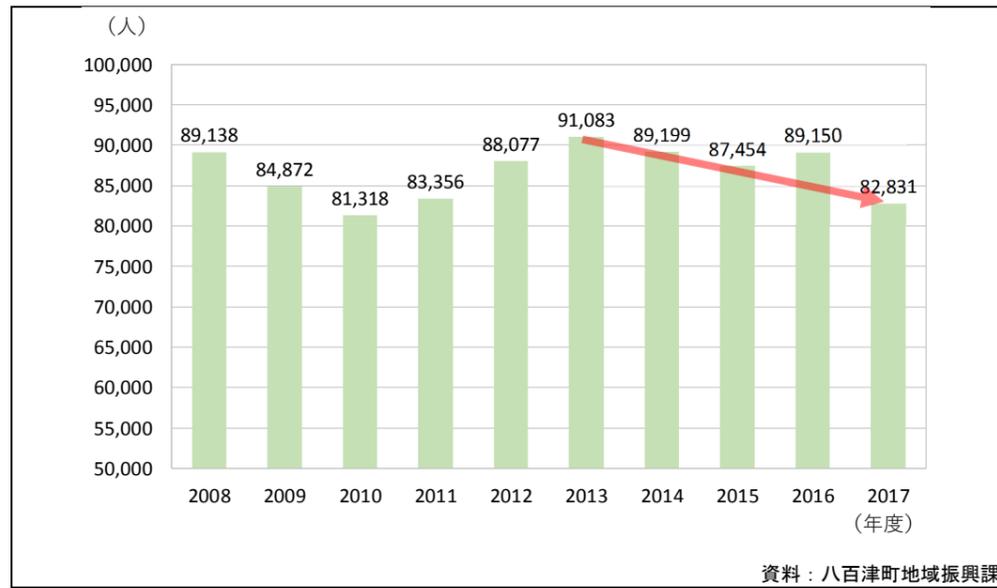
タクシーは町内に2台、観光シャトルタクシーの利用者は増加



図：コミュニティバス802利用者数の推移



図：観光シャトルタクシーの利用状況の推移



図：YAOバス利用者数の推移



図：ラッピングタクシー

## 2-3 上位関連計画（道路・交通関連施策について整理）

<p>第5次八百津町総合計画（平成29年3月策定） 道路・交通網の整備に関する事項</p> <p>【基本方針】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>町民の身近な移動手段としての公共交通の維持や運用改善に努める。</li> </ul> <p>【主要施策】</p> <p>■公共交通の利用促進</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>町民のニーズをとらえ、関係市町村や事業者と連携しながら、協議を行っていく。</li> <li>バス交通については、運用改善やバス網の検討を進め、町内タクシーについては、町の魅力発信としても活用できるよう、車体に模様やデザインなどのラッピングを行い、町民や観光客へ積極的にPRしていきなど、公共交通に関する利用促進を図っていく。</li> </ul>											
<p>八百津町まち・ひとしごと創生総合戦略（平成28年3月策定） ＜基本目標4＞ 安心をつくり・まちをつなぐ：確かな暮らしを実現する安心・安全な やおつ</p> <p>■基本的な方向</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>主体的な活動に対する新たな支援の仕組みや体制づくりを推進するとともに「小さな拠点」の形成を目指し、本町の魅力や資源を活用することで地域の課題解決に取り組み、地域に活力を生み出す。</li> </ul>											
<p>都市計画区域マスタープラン（平成23年1月変更）</p> <p>■都市施設の整備に関する主要な都市計画の決定の方針（交通施設）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>バスについては、廃線となった名鉄八百津線の代替として、YAOバスが運行されており、通勤・通学や日常生活における重要な交通手段となっている。また、町内を巡回するコミュニティバスも運行されているが、運行本数が少なく利便性に欠けているため、今後、さらなる高齢社会を迎えて、低床バスやデマンドシステムの導入等、地域に密着したバス路線網やバスシステムの導入を目指す。</li> </ul>											
<p>八百津町都市計画マスタープラン（平成20年3月策定）</p> <p>■交通施設の配置方針【バス交通網】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>高齢社会をむかえ、交通弱者の移動手段であるバスは、今後、ますます重要となっていく。そのため、地域に密着したバス網やバスシステムの導入に努める。</li> </ul>											
<p>八百津町過疎地域自立促進計画（平成29年6月策定）</p> <p>■交通網の整備</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>バス路線は、町民唯一の交通機関であることから、YAOバス、コミュニティバスの効率的な運行により利用促進を図る。また、自主運行バスの車両の更新を計画的に行っていく。</li> </ul>											
<p>第3期八百津町地域福祉（活動）計画（平成26年3月） 基本目標4 地域で安心して暮らせるまちづくり</p> <p>■地域で安心して暮らせるまちづくり（外出・移動支援の充実）</p> <p>【取り組みの方向】 高齢者の増加等、外出や移動が困難な人が増えることが予想されるため、外出支援を行う。</p> <p>【町・社協の取り組み】</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>施策</th> <th>内容</th> <th>担当</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>公共交通機関の確保</td> <td>コミュニティバスの路線・運行時間帯の見直し</td> <td>産業課</td> </tr> <tr> <td>新たな移動手段の確立</td> <td>社会資源やボランティア等の活用を視野に入れた新たな移動手段の確保に努めます。</td> <td>健康福祉課 社会福祉協議会</td> </tr> </tbody> </table>			施策	内容	担当	公共交通機関の確保	コミュニティバスの路線・運行時間帯の見直し	産業課	新たな移動手段の確立	社会資源やボランティア等の活用を視野に入れた新たな移動手段の確保に努めます。	健康福祉課 社会福祉協議会
施策	内容	担当									
公共交通機関の確保	コミュニティバスの路線・運行時間帯の見直し	産業課									
新たな移動手段の確立	社会資源やボランティア等の活用を視野に入れた新たな移動手段の確保に努めます。	健康福祉課 社会福祉協議会									
<p>やおつ高齢者いきいきプランⅦ 介護保険事業計画・老人福祉計画（平成30年3月）</p> <p>■交通手段の確保</p> <p>社会参加の促進や日常生活の支援の観点から、公共交通の運行経路や停留所等について、その時々々のニーズに合わせた見直しの提言を行っていく。また、NPO法人などによる移動支援への連携や、住民ボランティア等が主体となって行う移動支援のあり方等について検討する。</p>											

## 3 移動実態及びニーズの把握

### 3-1 町民アンケート調査（詳細は「参考資料2」参照）

#### (1) アンケート実施概要

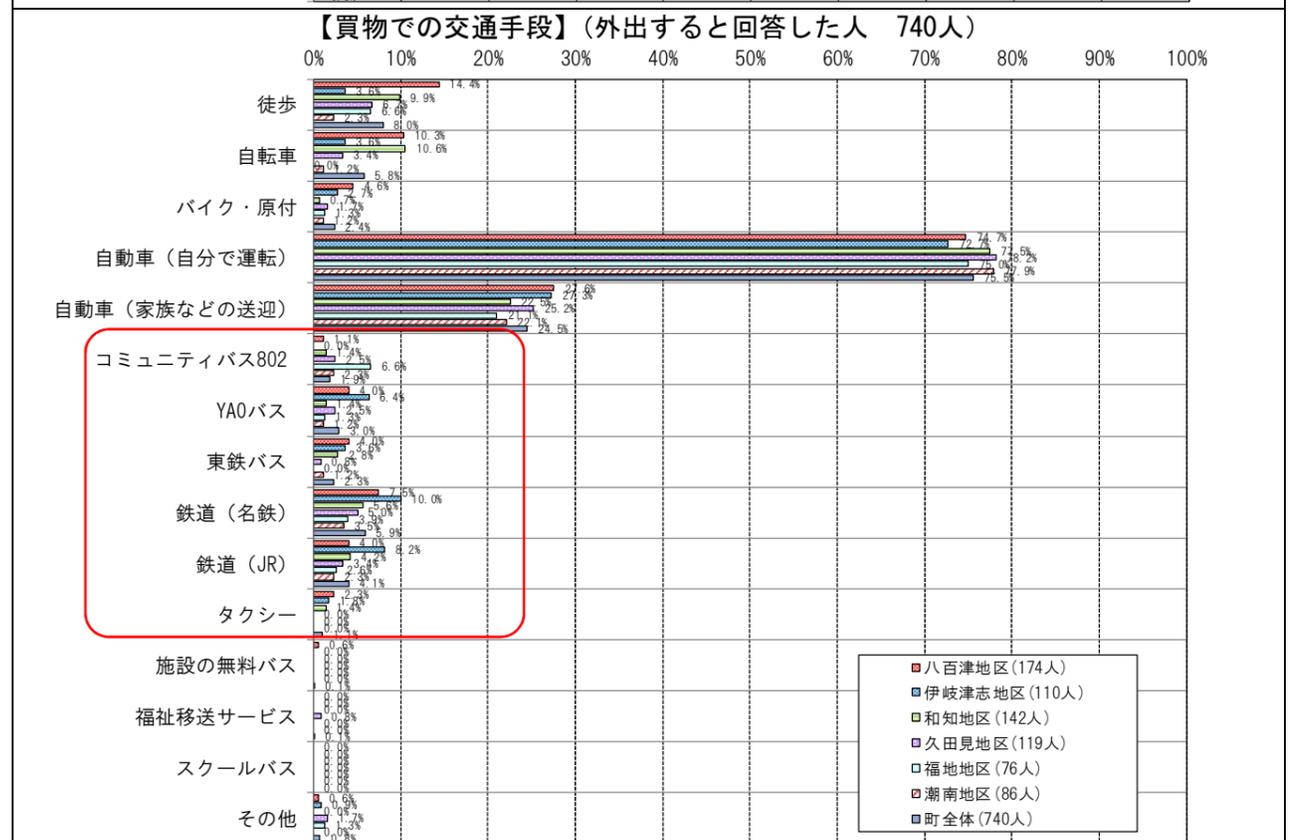
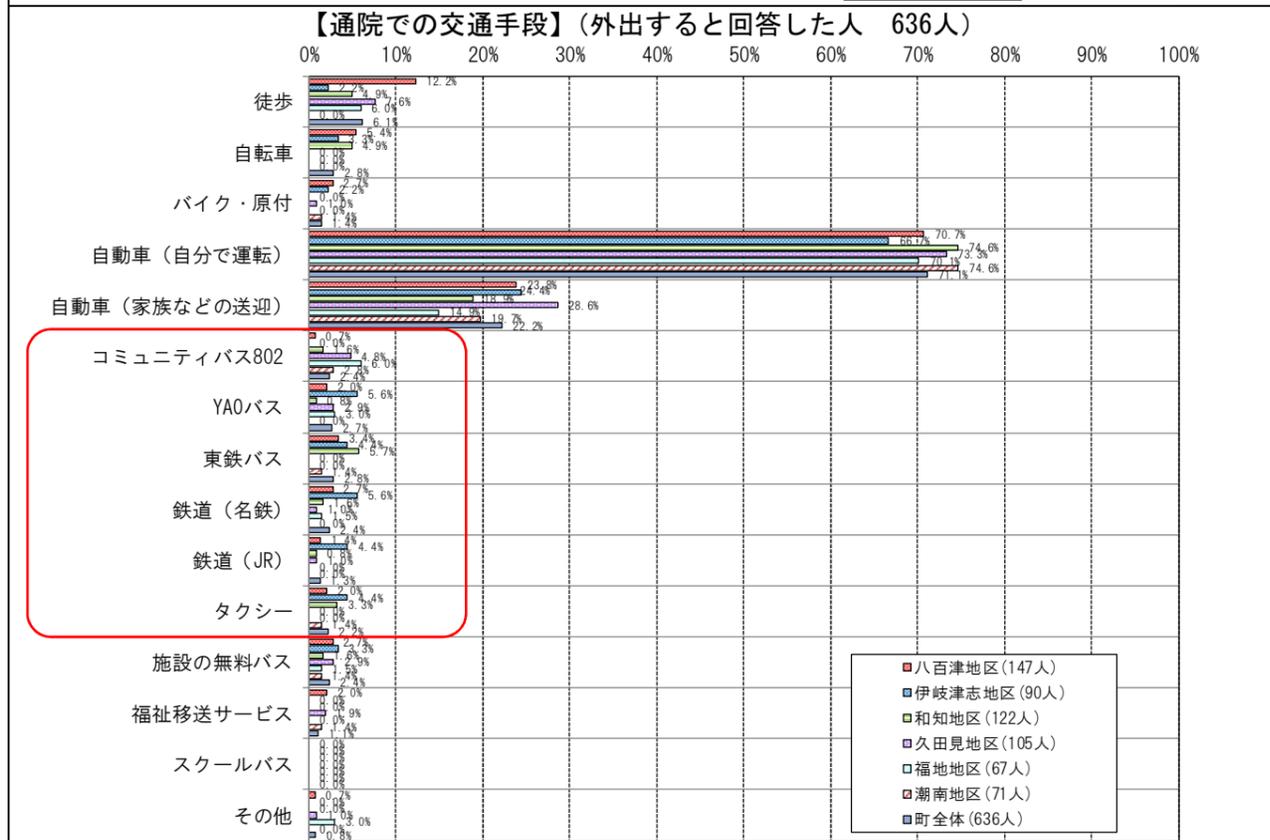
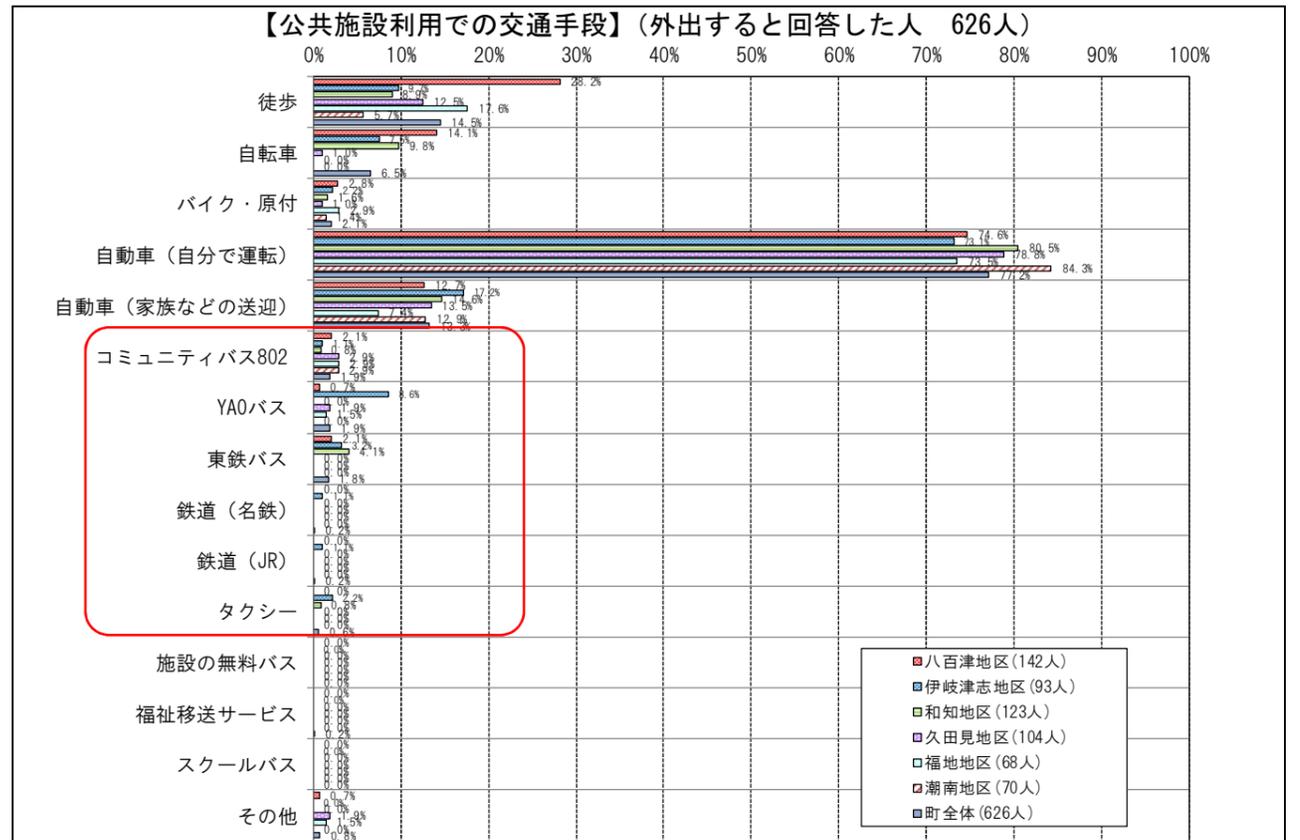
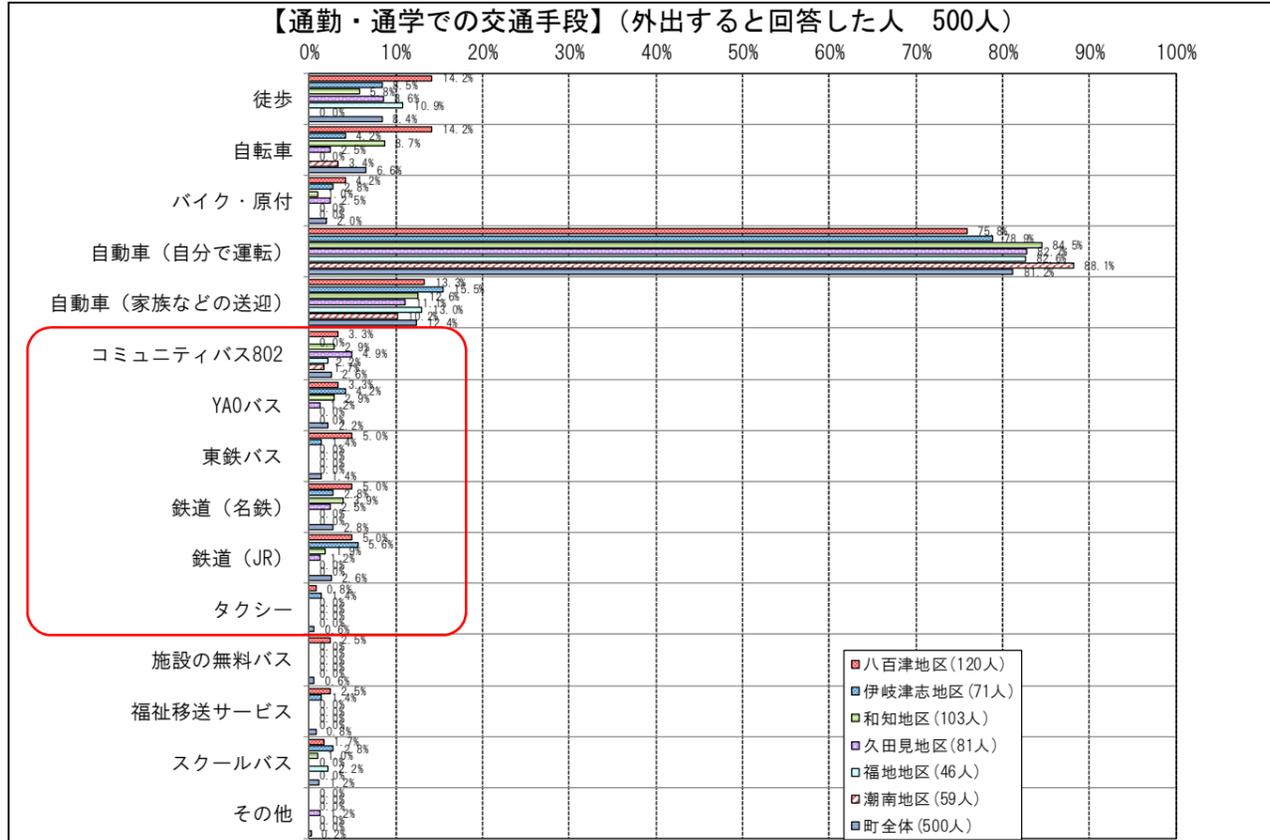
目的	町民の公共交通の利用状況、意識、ニーズ等を把握					
調査対象	16歳以上(高校生以上)の町民					
期間	2018年6月18日(月)～7月5日(木)					
配布・回収方法	郵送配布・郵送回収					
配布数	2,000通					
	八百津	伊岐津志	和知	久田見	福地	潮南
	460通	350通	450通	300通	210通	230通
[参考]目標サンプル数	370通					
※全体は誤差5% 地域別は誤差10%で設定	八百津	伊岐津志	和知	久田見	福地	潮南
	93通	91通	93通	88通	74通	79通
回収数(回収率)	844通(42.2%) [地区不明 48通]					
	八百津	伊岐津志	和知	久田見	福地	潮南
	189通	125通	160通	136通	84通	102通
	(41.1%)	(35.7%)	(35.6%)	(45.3%)	(40.0%)	(44.3%)
誤差	全体:3.1%					
	八百津	伊岐津志	和知	久田見	福地	潮南
	6.7%	8.1%	7.3%	7.3%	7.9%	7.5%

(2) アンケート結果概要

■ 日常の行動について

問1 あなたの日常の交通行動について教えてください。

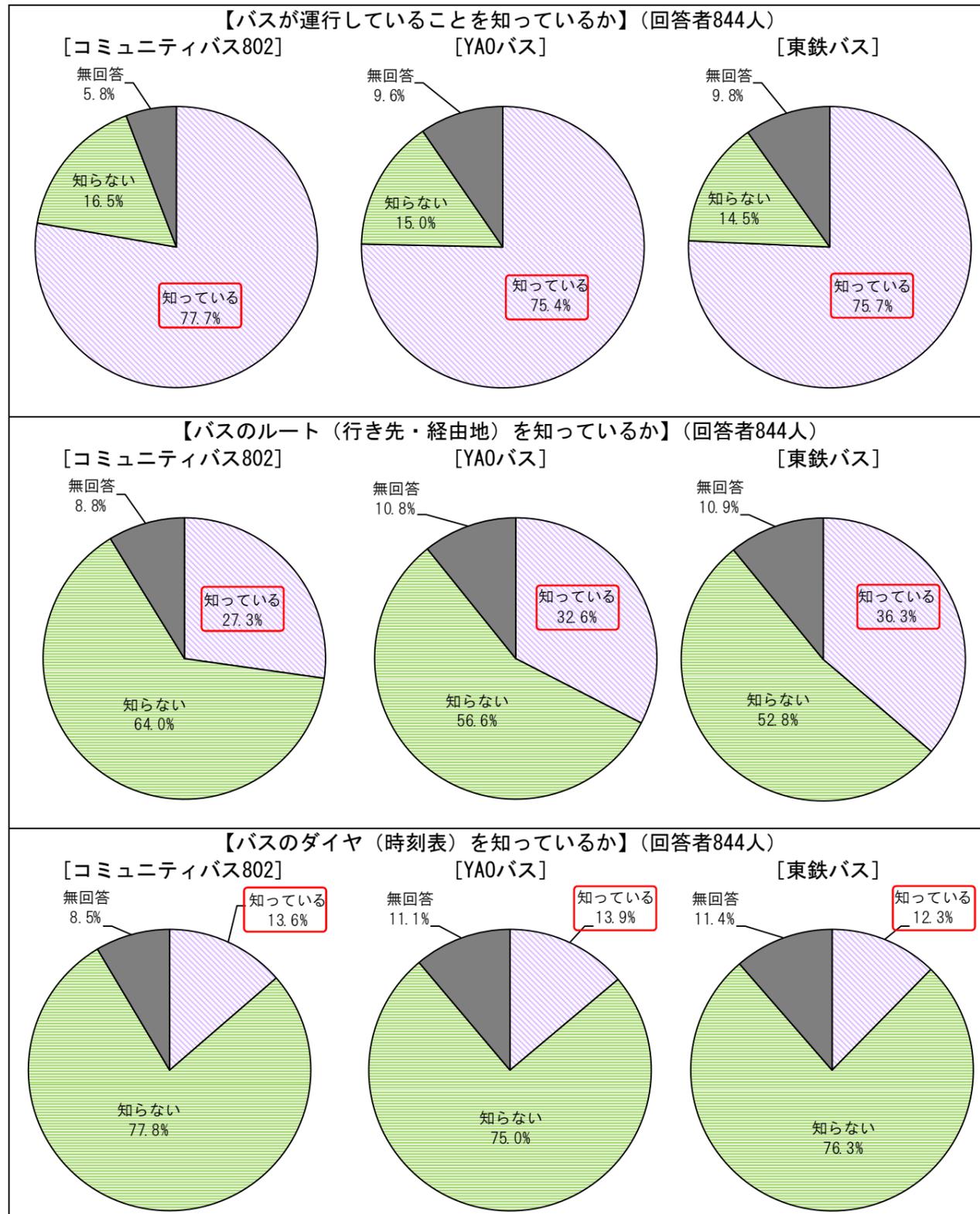
いずれの目的でも自動車（自分で運転）が70%以上 公共交通の利用は10%以下と少ないが、買物目的では鉄道が利用されている



■公共交通の評価について

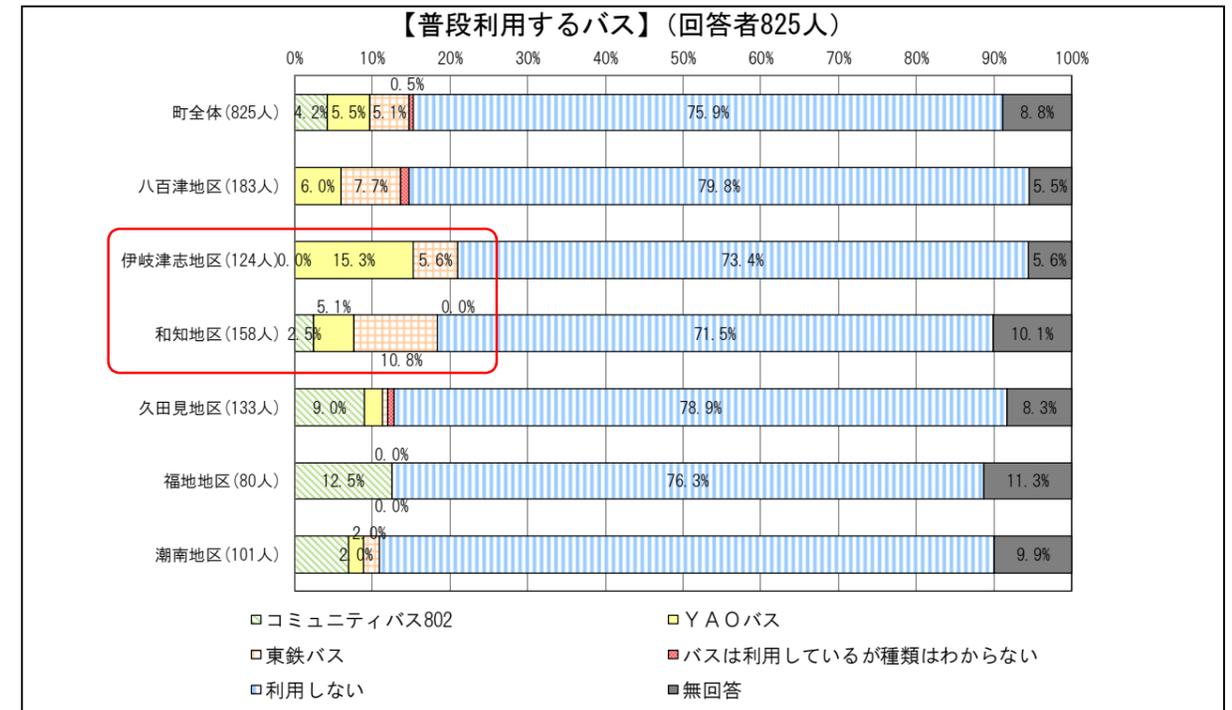
問2 バスについて知っていること

運行自体は知られているが、詳しい運行の内容を知っている人は少ない



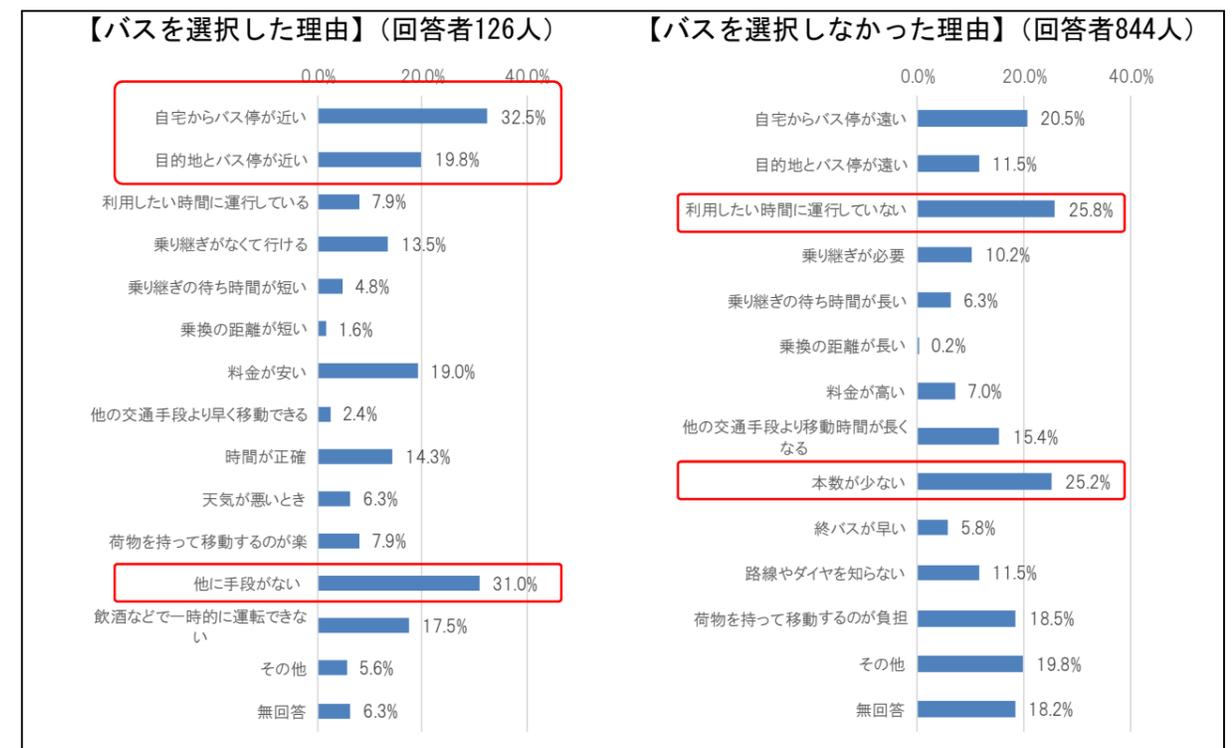
問3 普段利用するバス

YAOバスが通る伊岐津志、東鉄バスが通る和知で普段バスを利用する人が多い



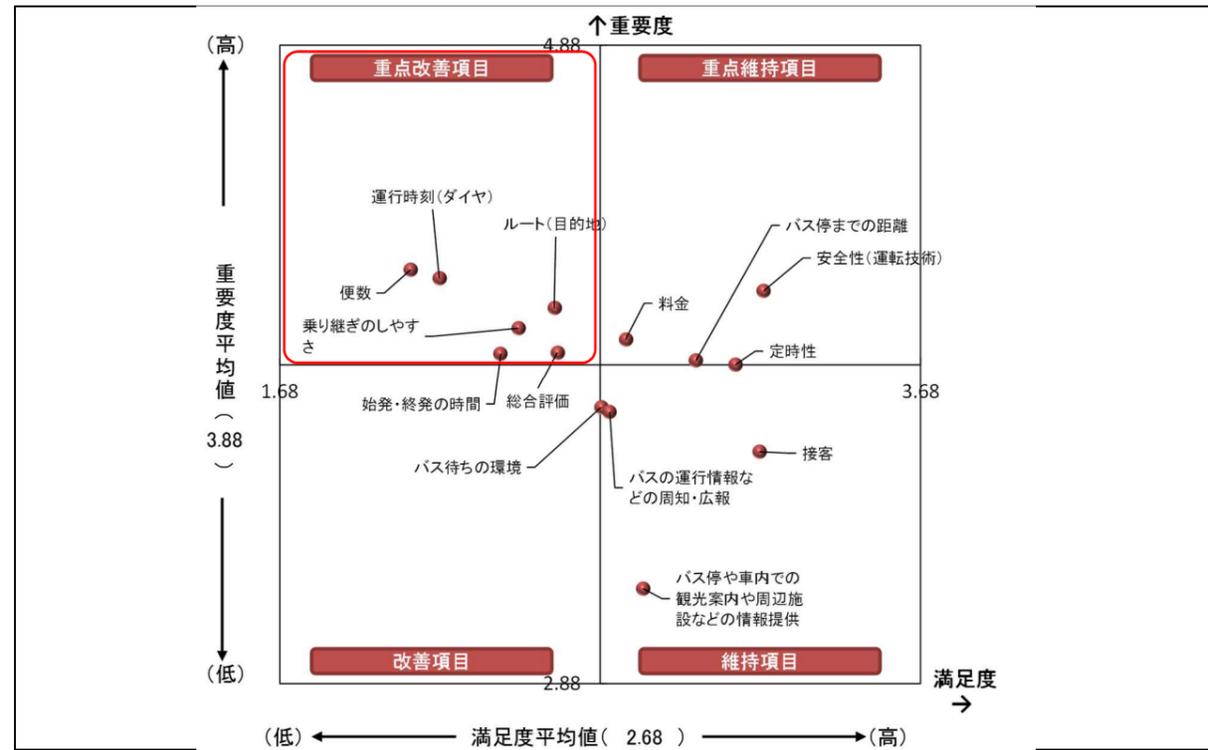
問5・問6 バスを選択した理由・選択しなかった理由

バスを選択する理由は「バス停が近い」「他に手段がない」が多く  
 選択しない理由は「利用したい時間がない」「本数が少ない」が多い



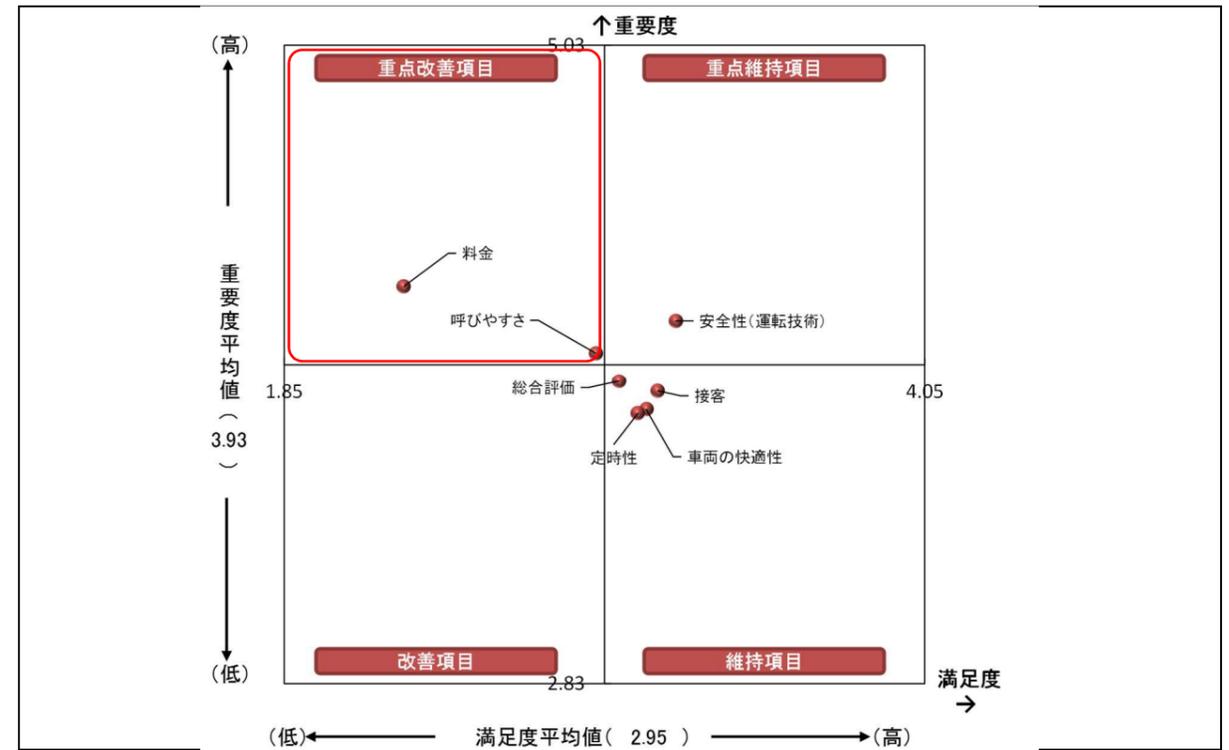
問10 バスの満足度と重要度

重点改善項目は「便数」「運行時刻」「乗り継ぎのしやすさ」等



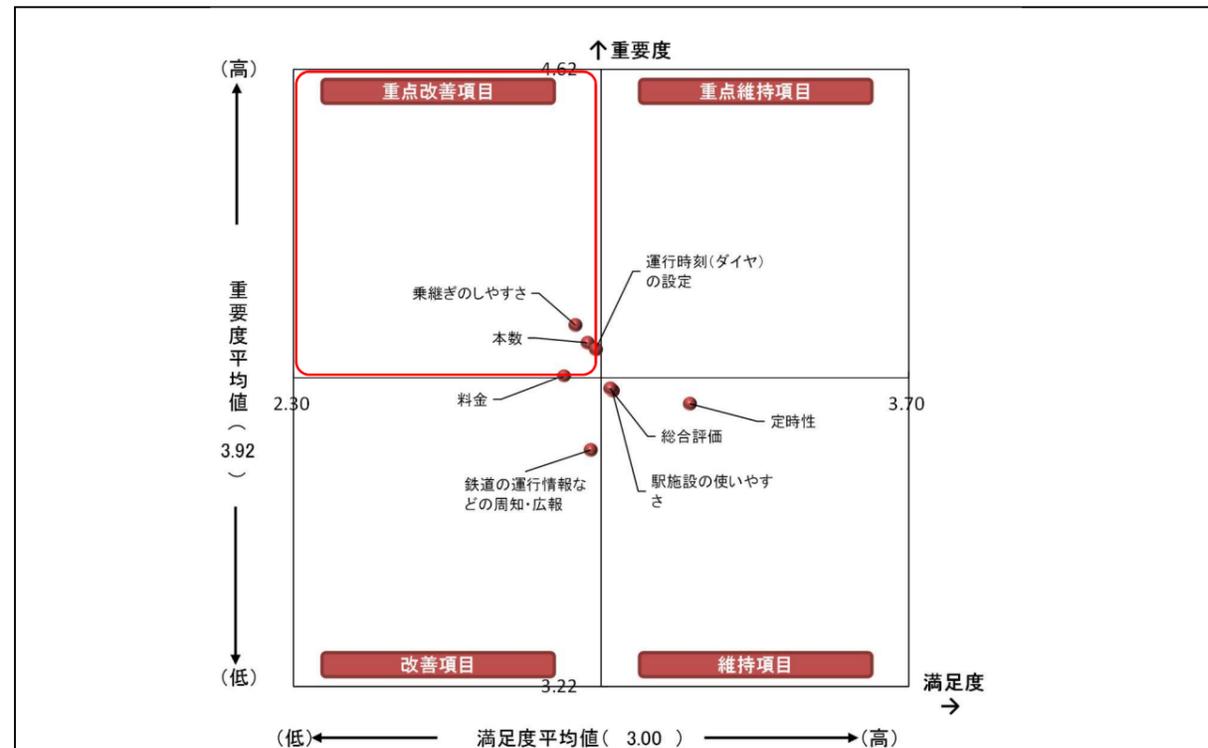
問20 タクシーの満足度と重要度

重点改善項目は「料金」「呼びやすさ」



問16 鉄道の満足度と重要度

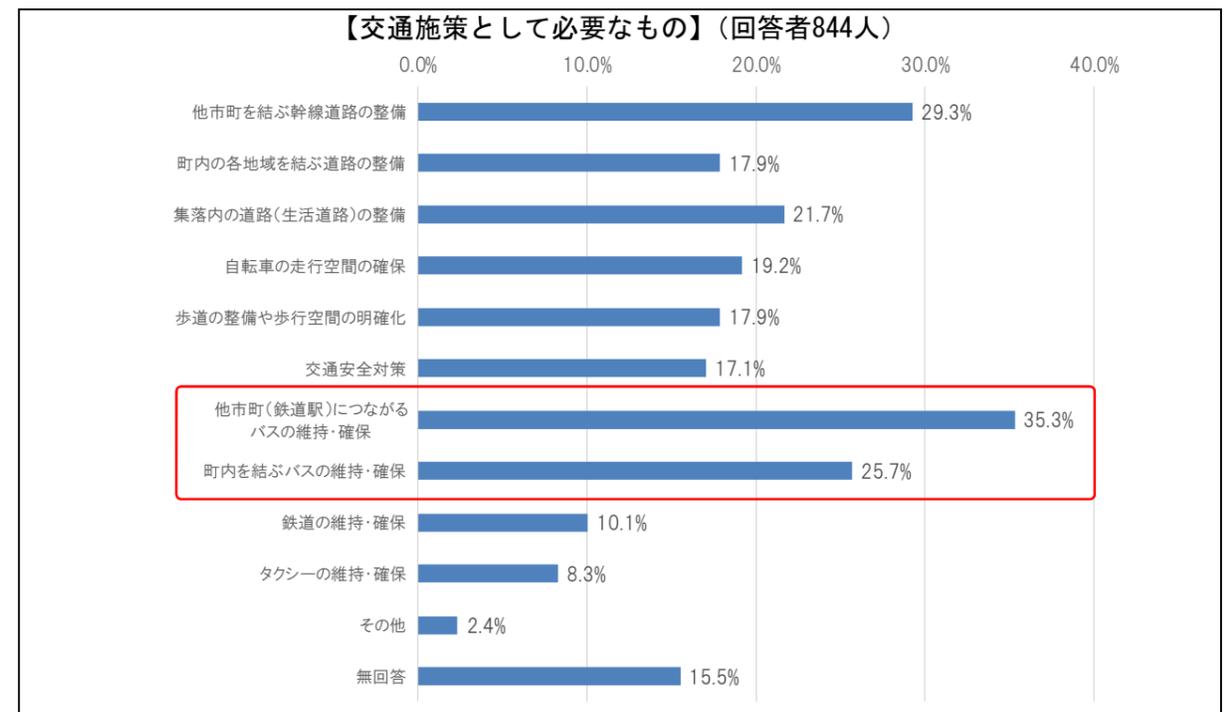
重点改善項目は「乗り継ぎのしやすさ」「本数」「運行時刻」等



■その他交通に関する事項について

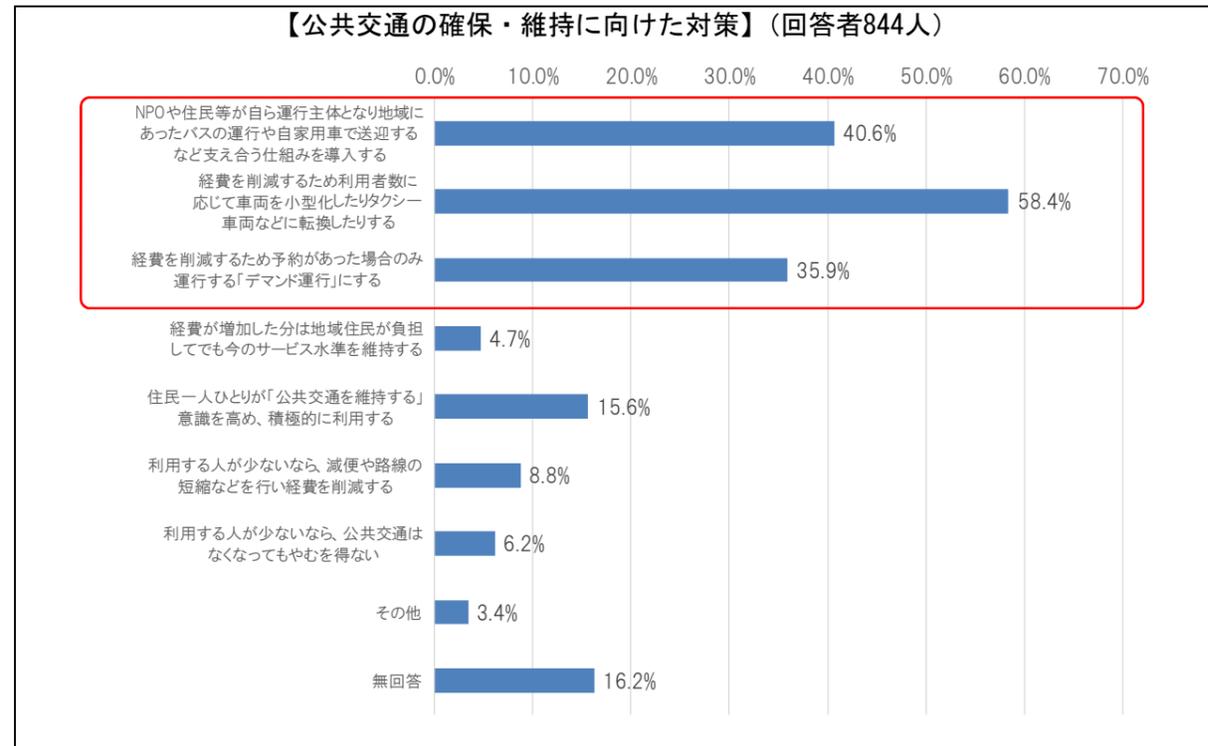
問21 八百津町の交通施策として必要なもの

バスの維持・確保は交通施策として必要とされている



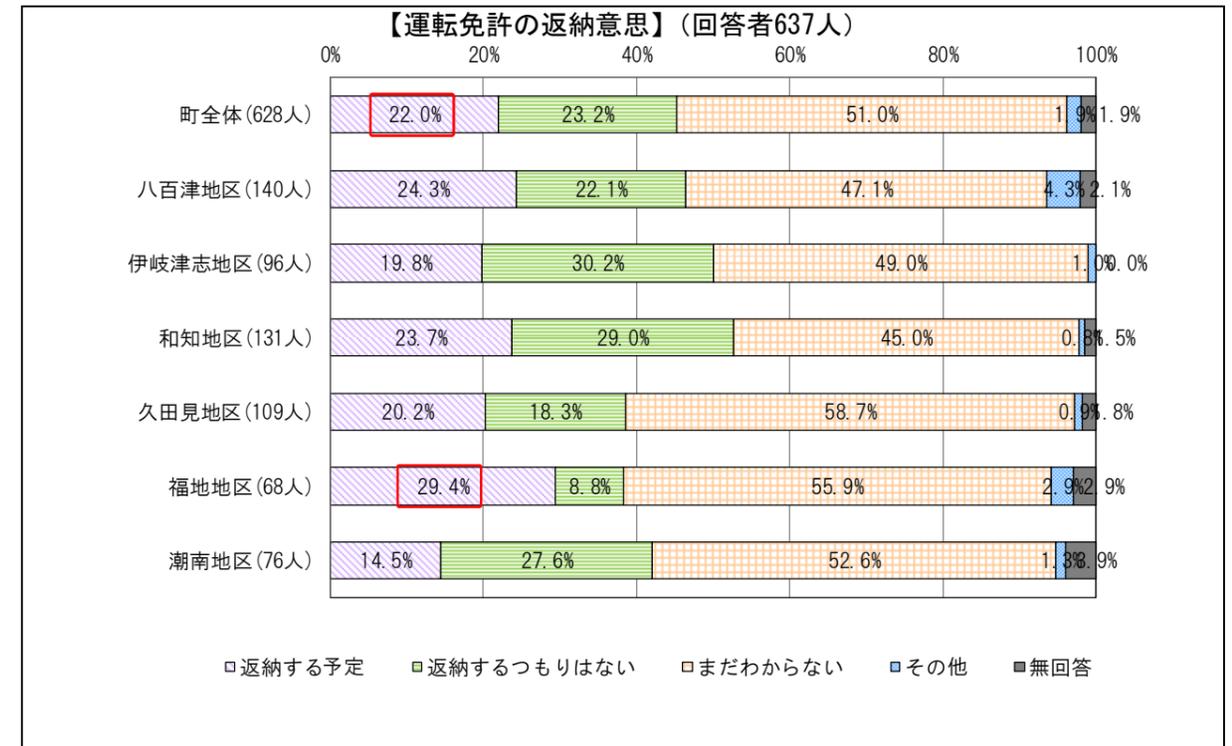
問24 公共交通の確保・維持に向けた対策

経費削減のための車両変更・地域で支える仕組みづくり・デマンド運行等が多い



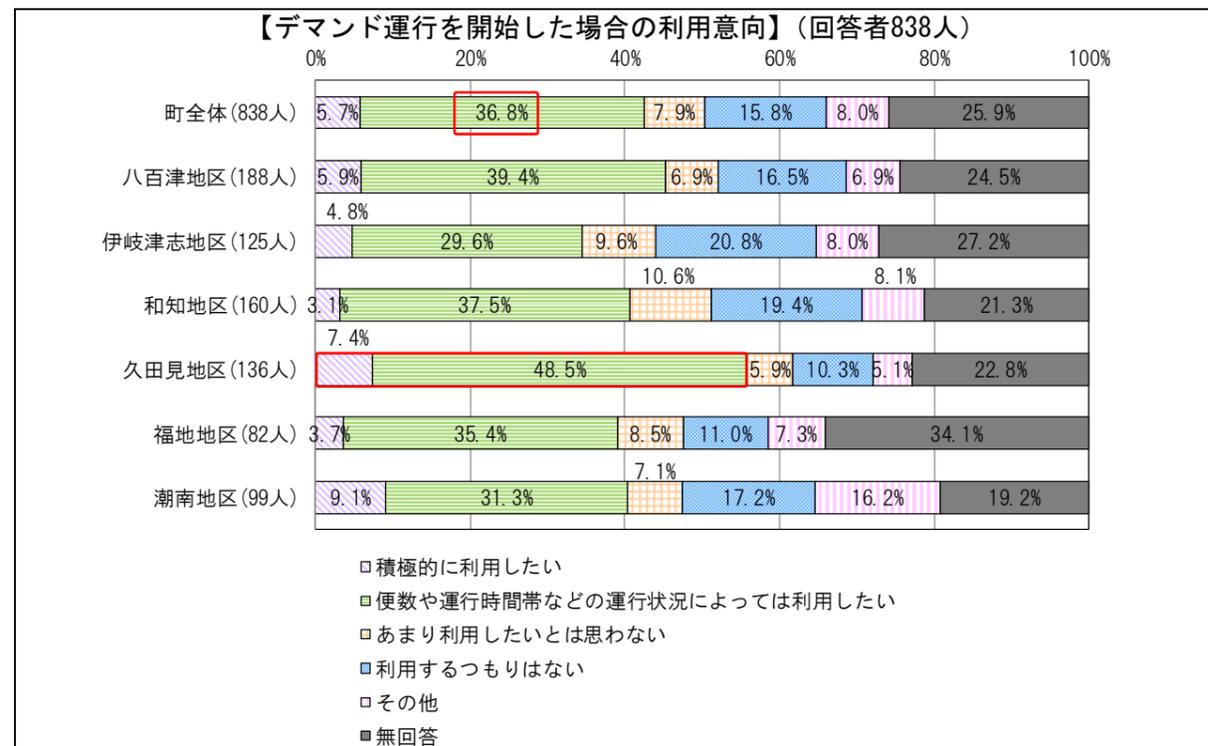
問35 運転免許の返納意思について

返納予定は町全体で約22% 福地地区は約30%と最も多い



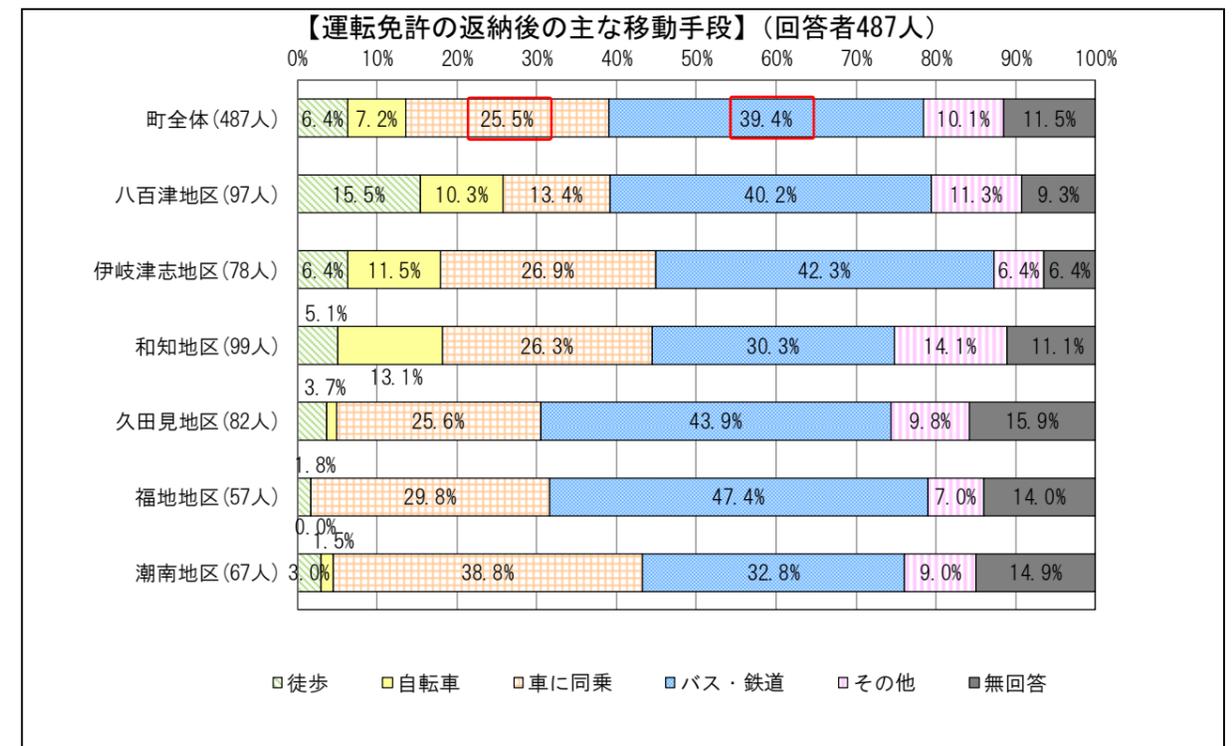
問26 デマンド運行を開始した場合の利用意向

「運行条件によって利用したい」が約37%で最多 久田見地区で利用意向が多い



問35 返納した場合の移動手段について

「バス・鉄道」が約40%と最も多く、次いで「車に同乗」が約26%



### 3-2 利用実態調査

#### (1) 利用実態調査実施概要

目的	コミュニティバス802、YAOバス、東鉄バス、自主運行バス(飯地線)の利用状況(利用者数、OD)及び利用者の属性、意識、ニーズ等を把握			
調査対象	バス利用者			
実施日	平日:2018年6月28日(木) 休日:2018年6月30日(土)			
調査方法	バス全便(平日・休日各1日)に調査員が乗り込み、目視(利用者数・乗降バス停・年齢)及びアンケート配布(その場で回収)により実施 なお、八百津高校生は別途アンケートを実施するため配布しない			
アンケート回収数		平日	休日	合計
	コミュニティバス802	44	—	44
	YAOバス	52	42	94
	東鉄バス	36	8	44
	合計	132	50	182

#### (2) 利用実態調査結果概要

##### 1) OD調査(詳細は「参考資料3」参照)

##### ■日利用者数

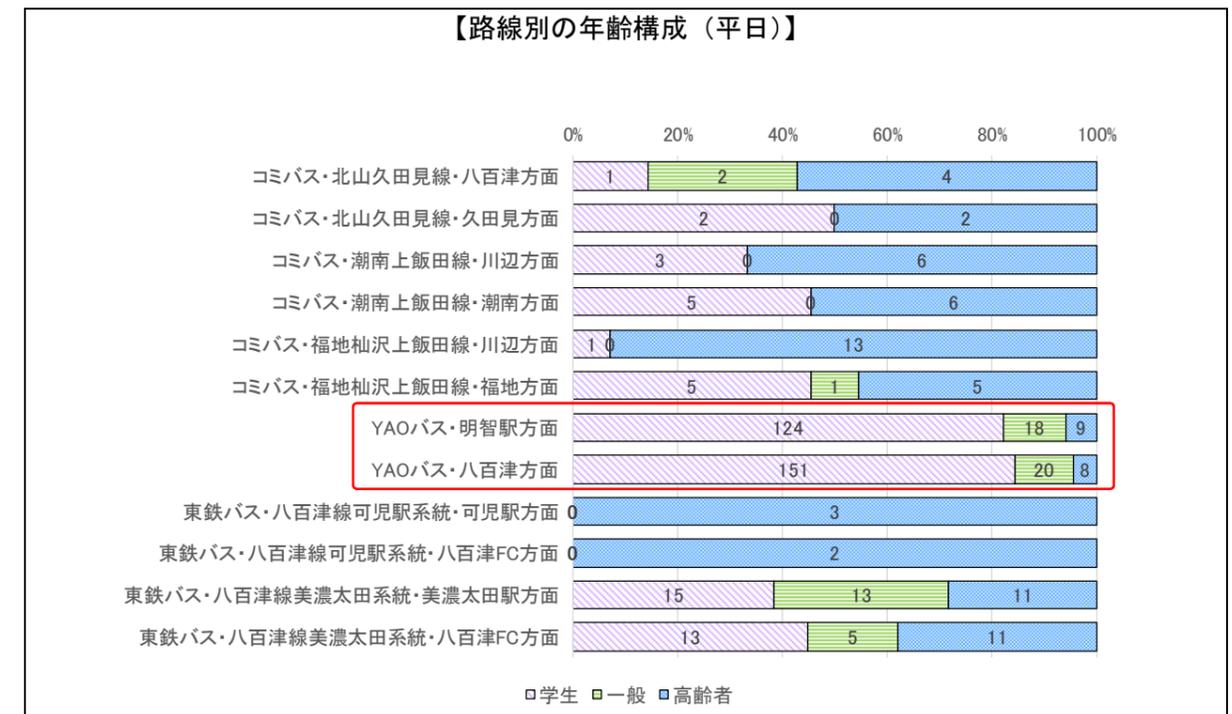
YAOバスは平日300人/日以上 休日の利用者は平日に比べて大幅に少ない

種別	路線	平日	休日
コミュニティバス802	北山久田見線・八百津方面	7	—
	北山久田見線・久田見方面	4	—
	潮南上飯田線・川辺方面	9	—
	潮南上飯田線・潮南方面	11	—
	福地杣沢上飯田線・川辺方面	14	—
	福地杣沢上飯田線・福地方面	11	—
YAOバス	明智駅方面	151	40
	八百津方面	179	40
東鉄バス	八百津線可児駅系統・可児駅方面	3	—
	八百津線可児駅系統・八百津FC方面	2	—
	八百津線美濃太田系統・美濃太田駅方面	39	7
	八百津線美濃太田系統・八百津FC方面	29	4
	計	459	91

### ■年齢構成

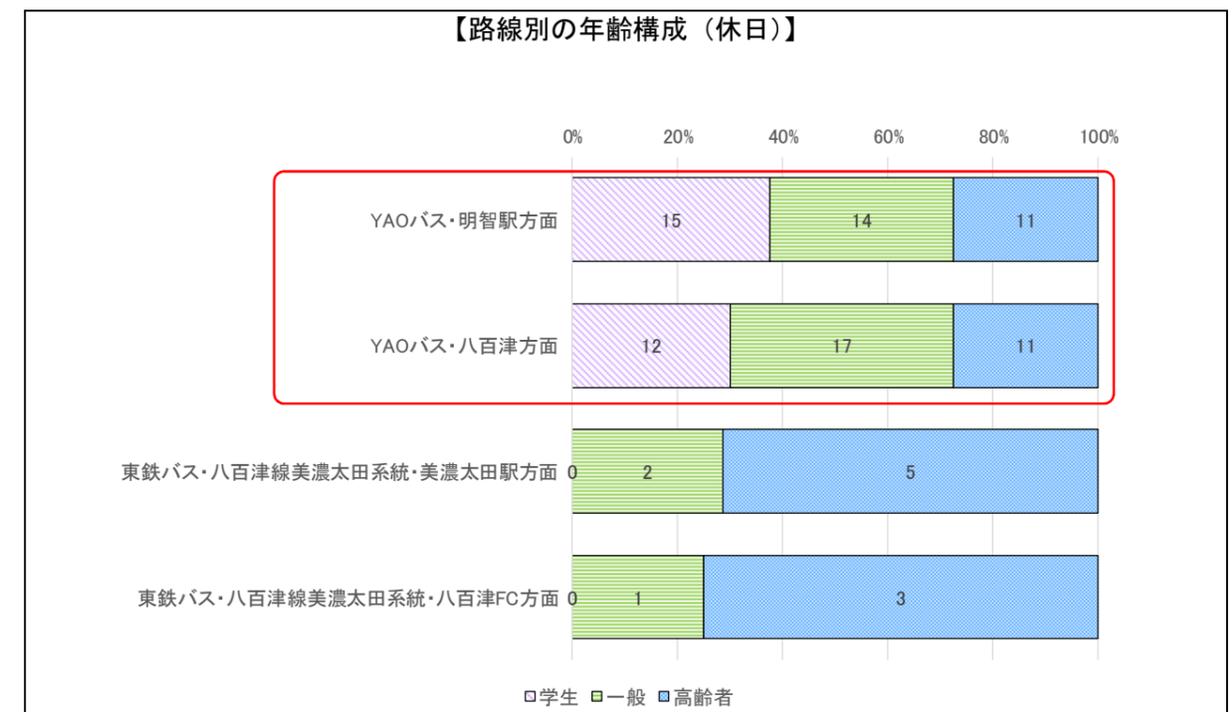
[平日]

YAOバスは学生利用がほとんど 一般利用は各路線とも少ない



[休日]

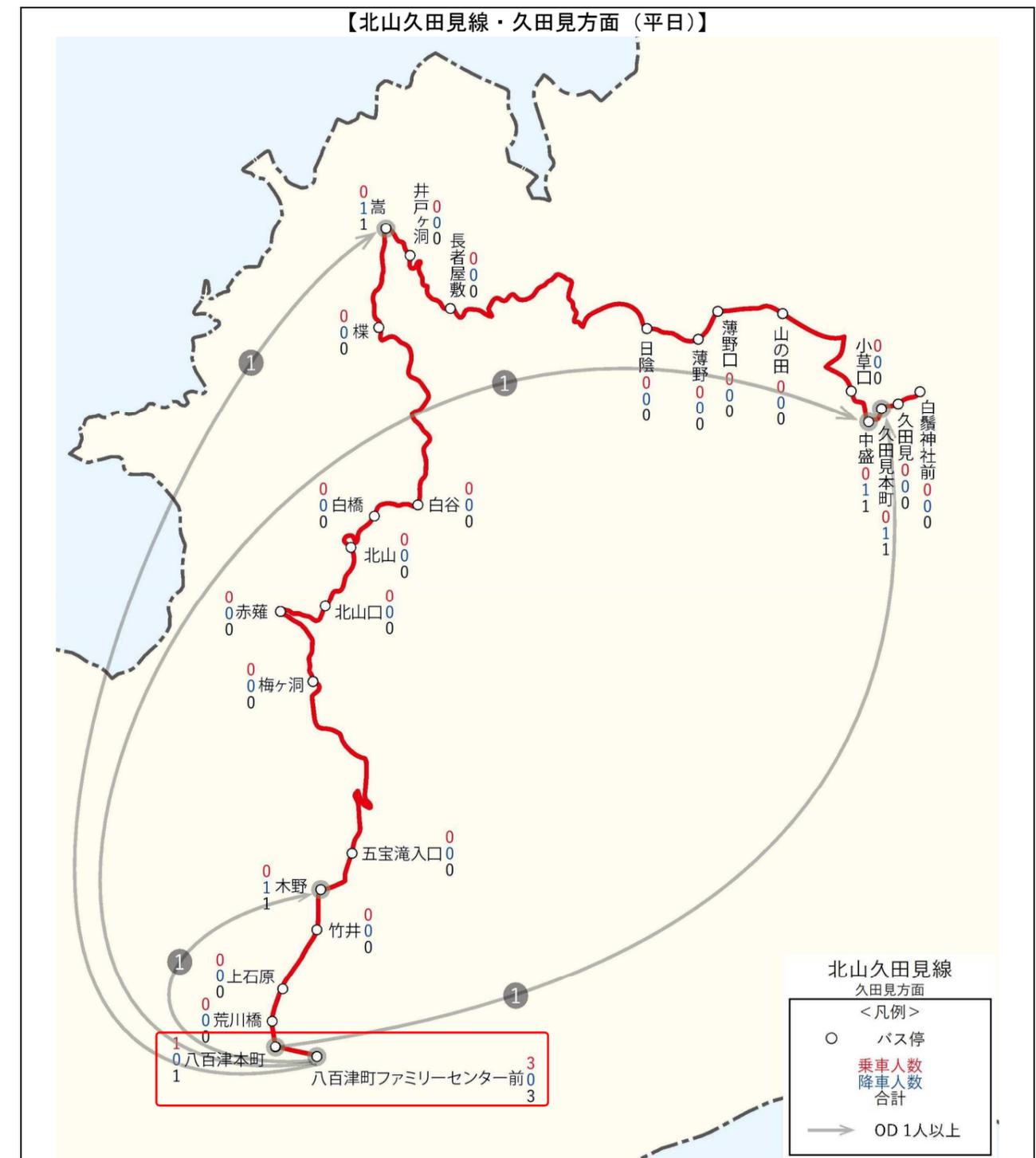
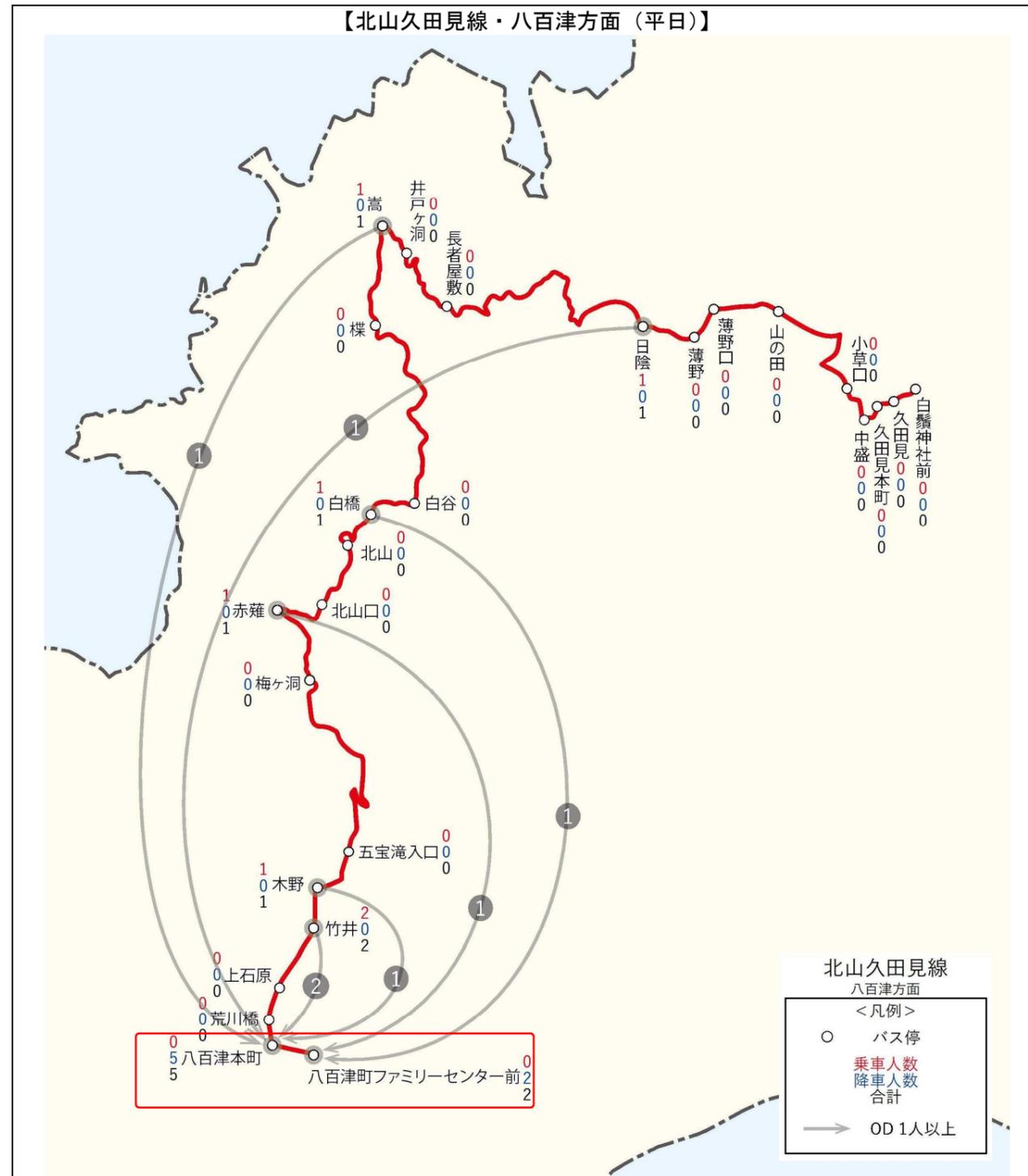
平日に比べ学生利用が減少し、一般・高齢者の利用割合が増える



■乗降バス停

[コミュニティバス802]

各路線とも八百津本町・八百津町FCでの乗降が多い



【潮南上飯田線・川辺方面（平日）】



【潮南上飯田線・潮南方面（平日）】

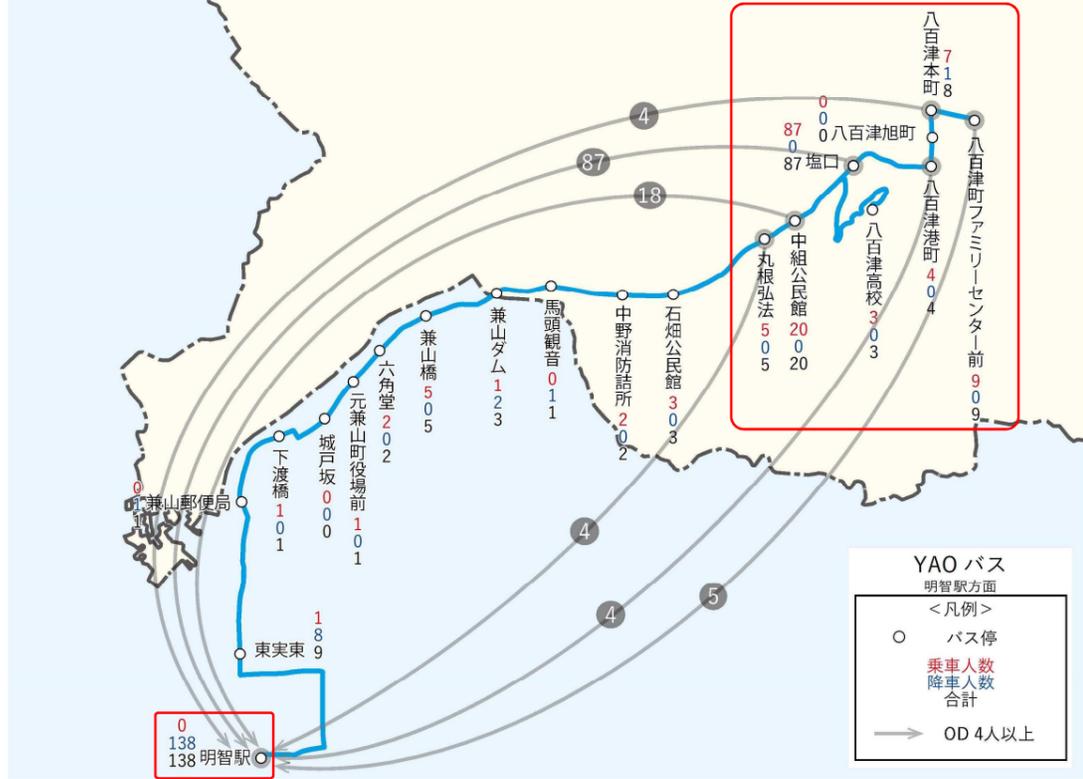




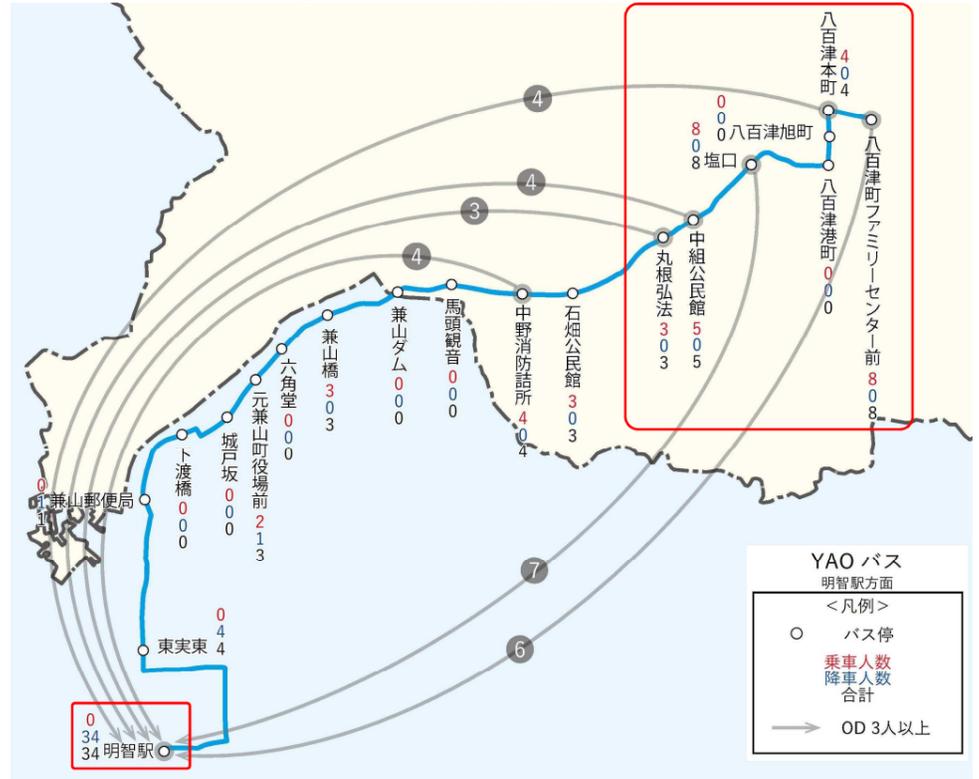
[YAOバス]

明智駅と八百津高校・塩口・中組公民館が多く、多くが八百津高校生の利用

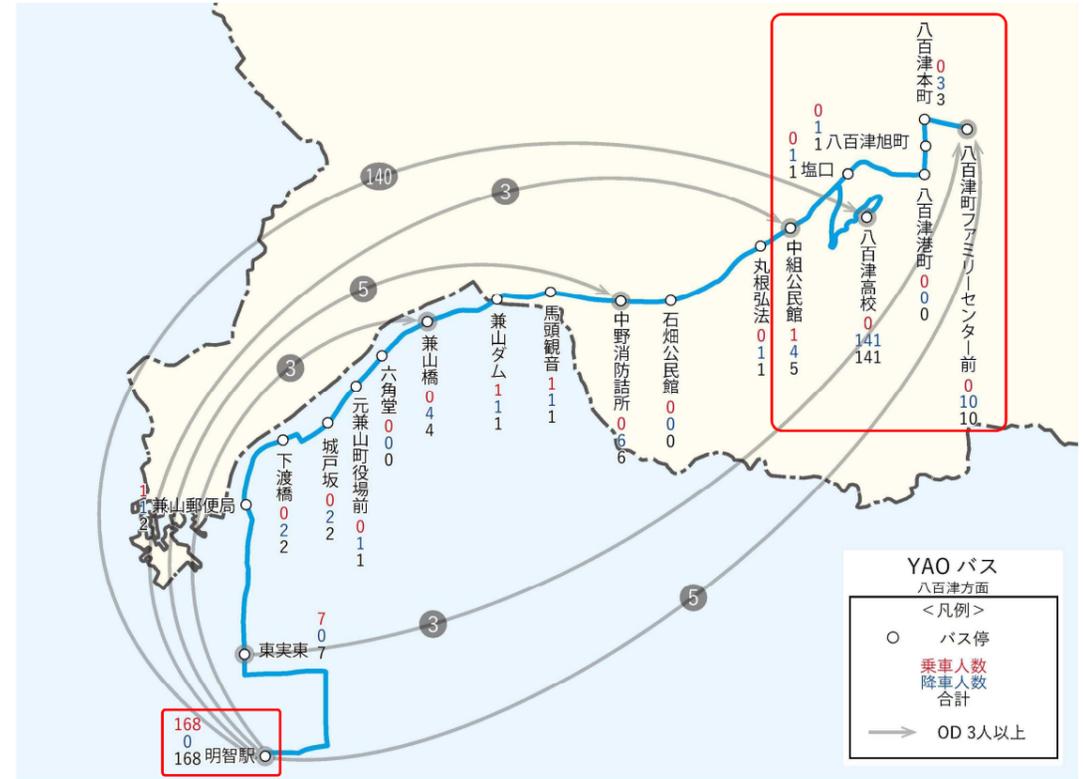
【YAOバス・明智駅方面（平日）】



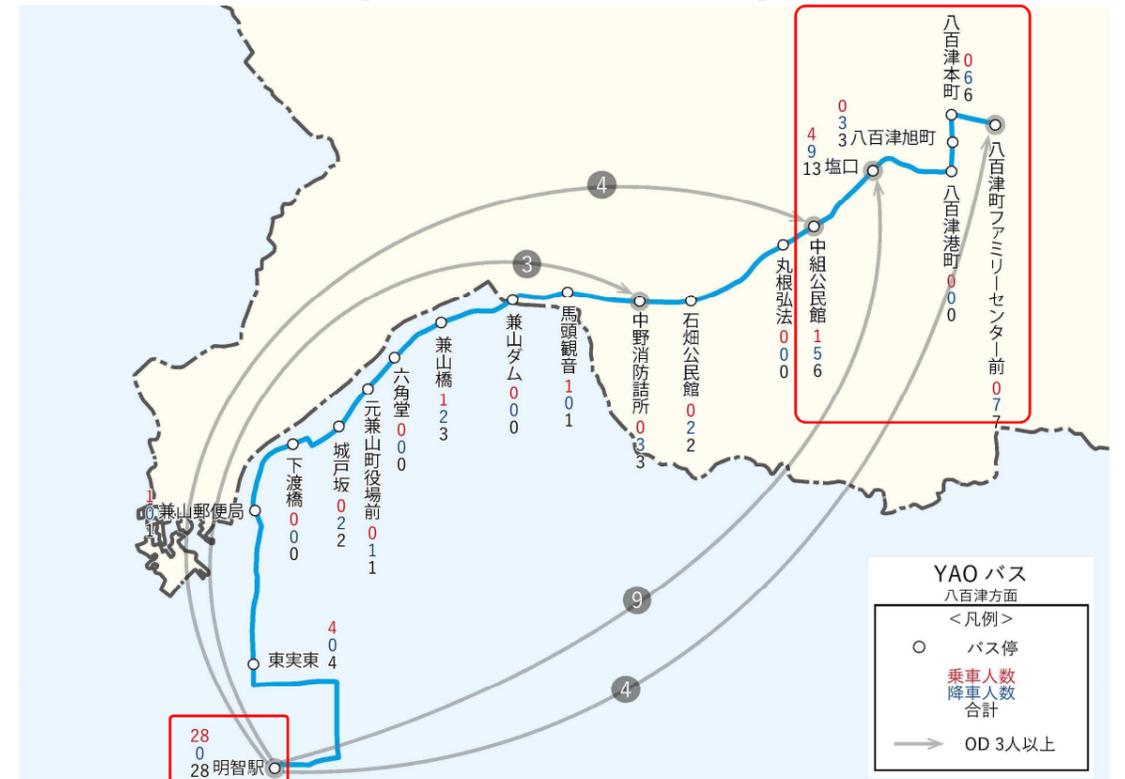
【YAOバス・明智駅方面（休日）】



【YAOバス・八百津FC方面（平日）】



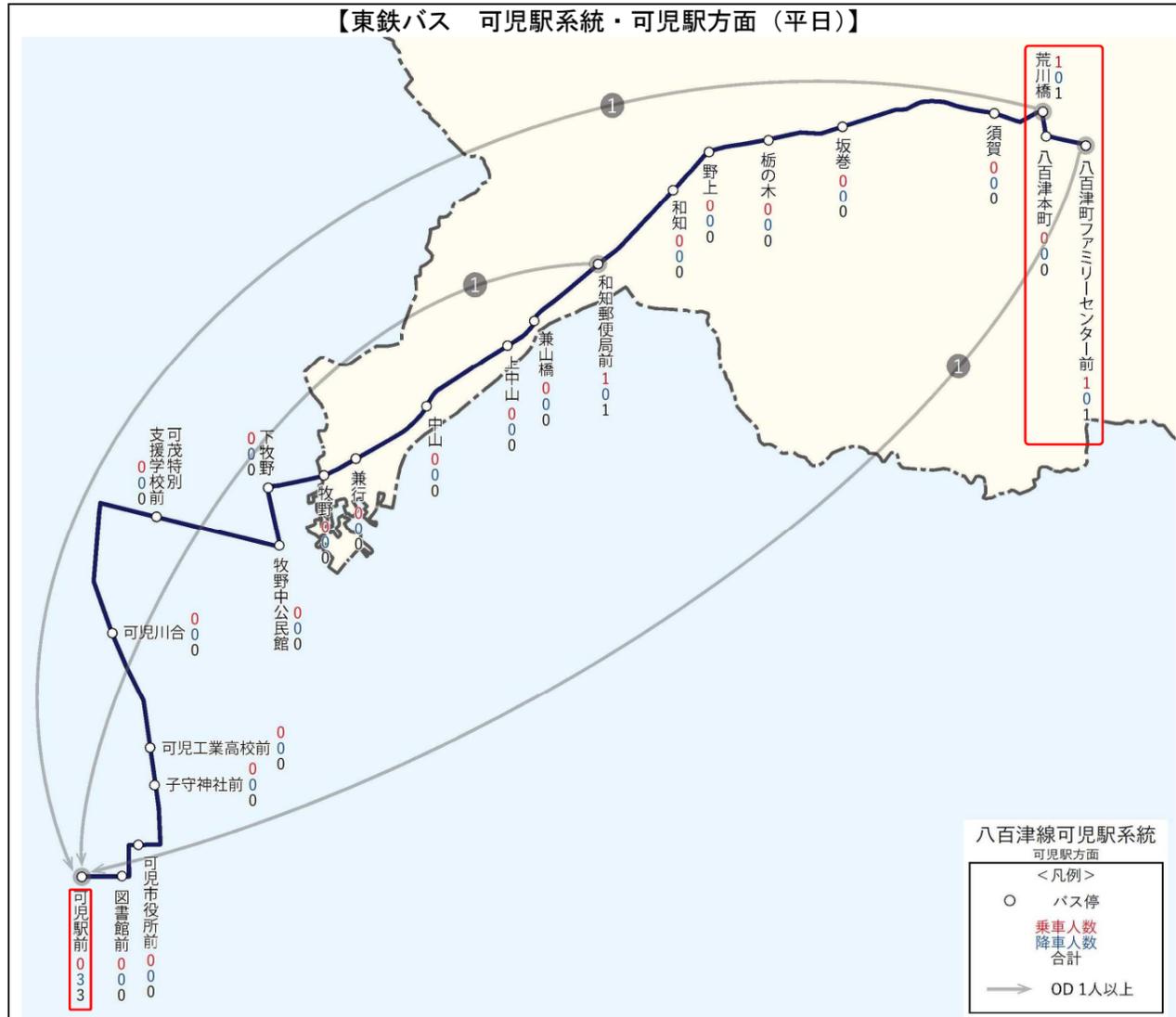
【YAOバス・八百津FC方面（休日）】



[東鉄バス]

駅と八百津町中心部間の移動が多い

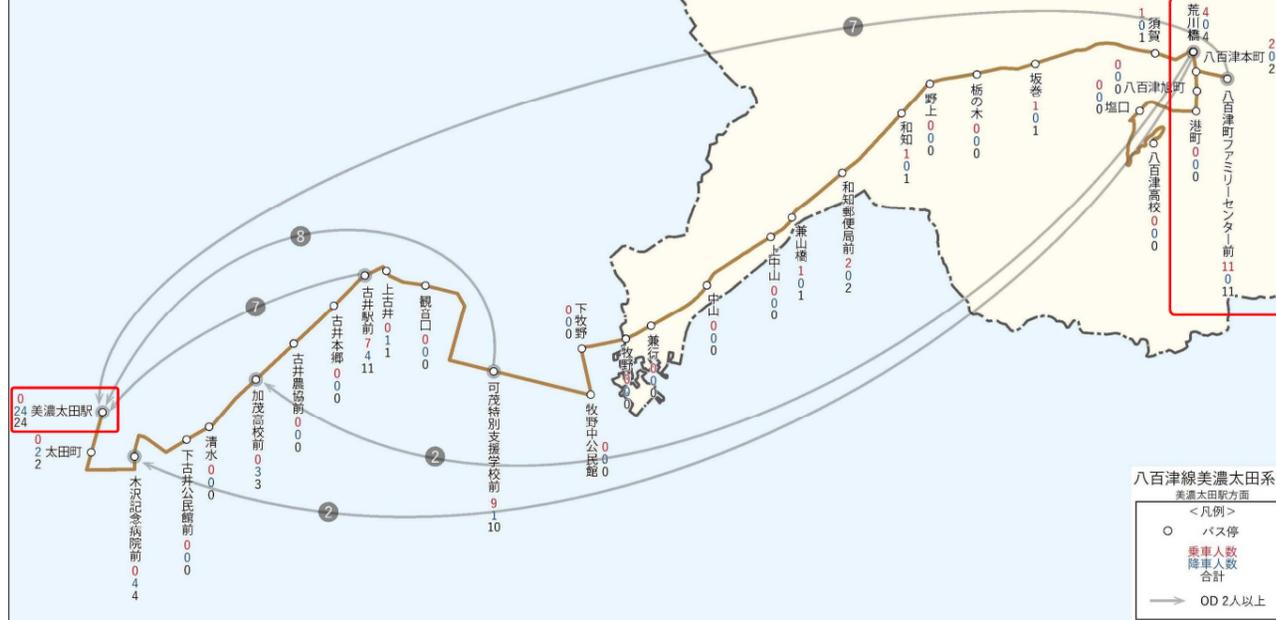
【東鉄バス 可児駅系統・可児駅方面（平日）】



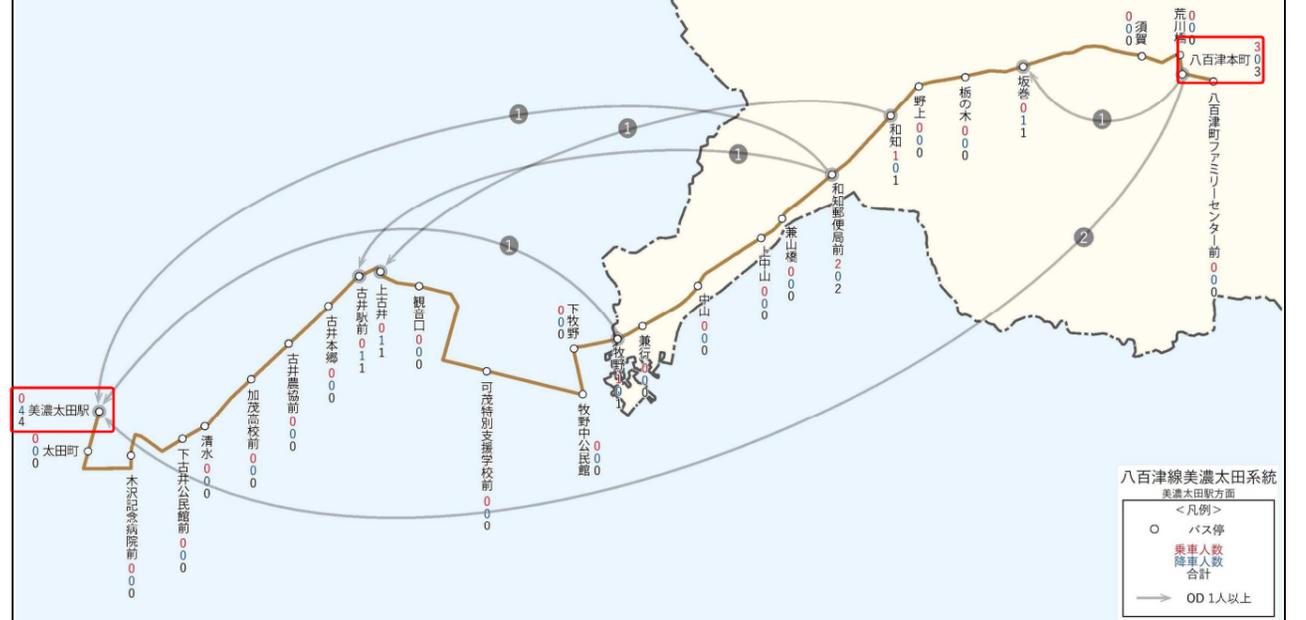
【東鉄バス 可児駅系統・八百津町方面（平日）】



【東鉄バス 美濃太田系統・美濃太田駅方面（平日）】



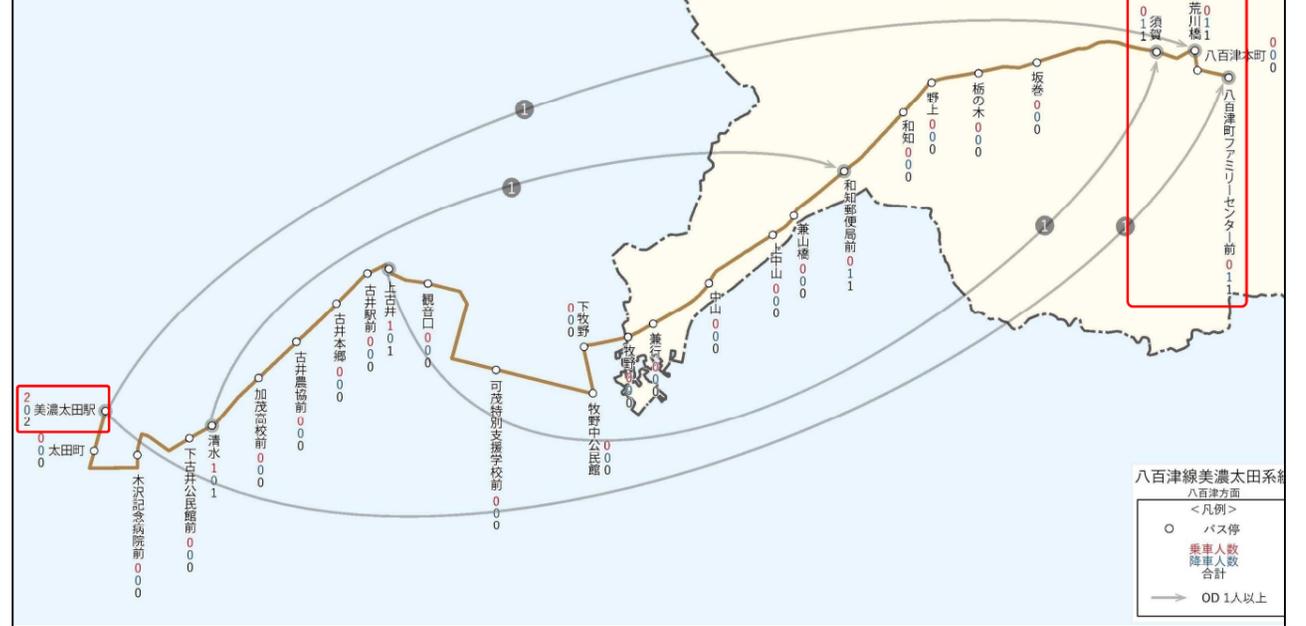
【東鉄バス 美濃太田系統・美濃太田駅方面（休日）】



【東鉄バス 美濃太田系統・八百津町方面（平日）】



【東鉄バス 美濃太田系統・八百津町方面（休日）】



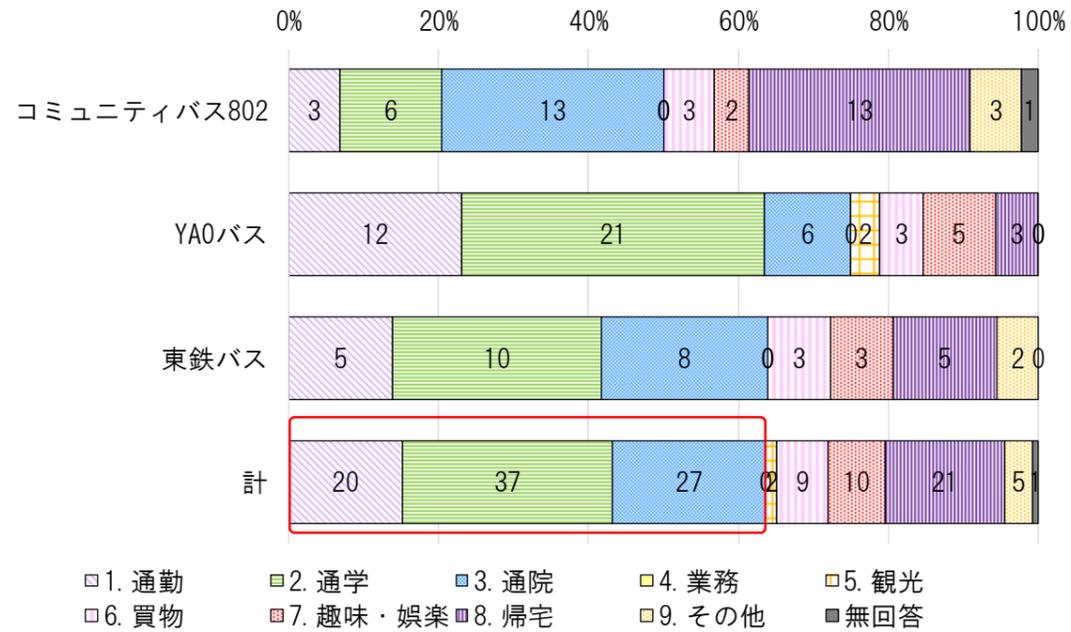
2) 利用者アンケート（詳細は「参考資料4」参照）

■ 今回のバスの利用について

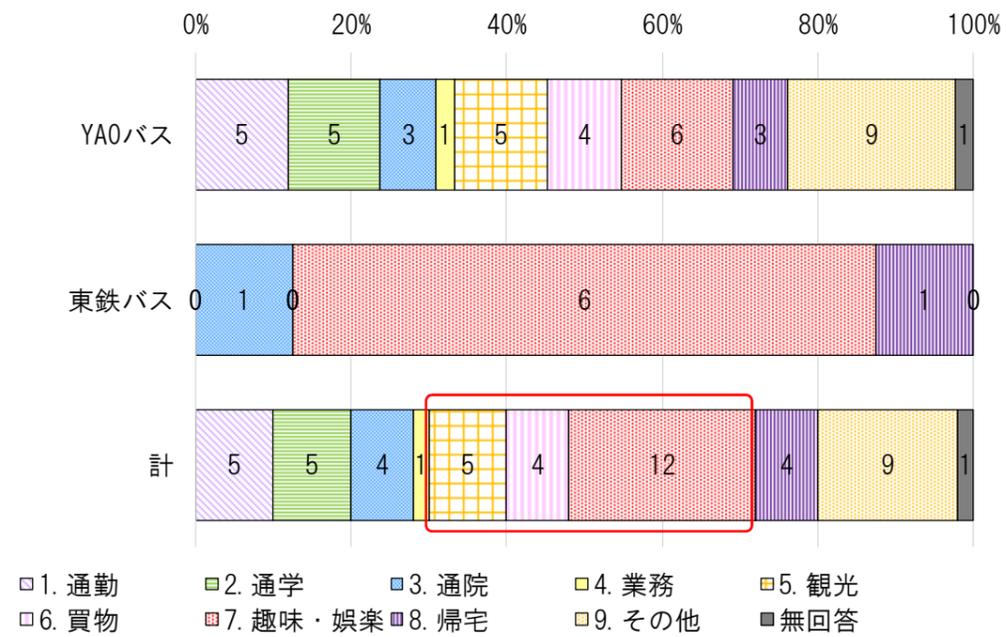
問2 利用目的

平日は通勤・通学・通院が多く、休日は観光や趣味・娯楽が多い

今回の利用目的【平日】



今回の利用目的【休日】

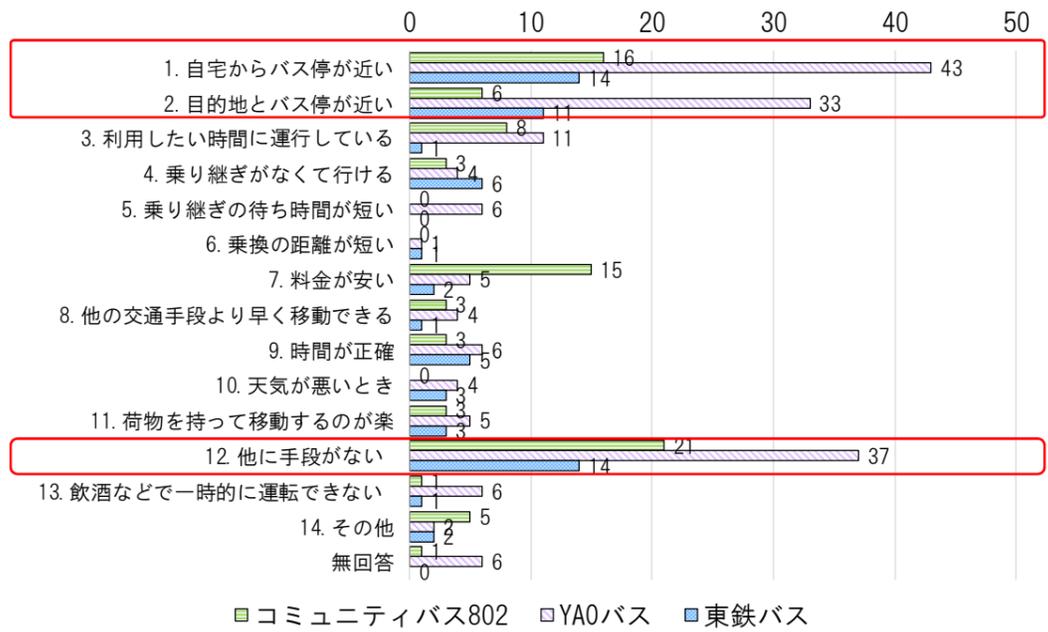


■ 普段のバスの利用について

問5 バスを利用する理由

バス停が近いこと、他に手段がないことから利用されている

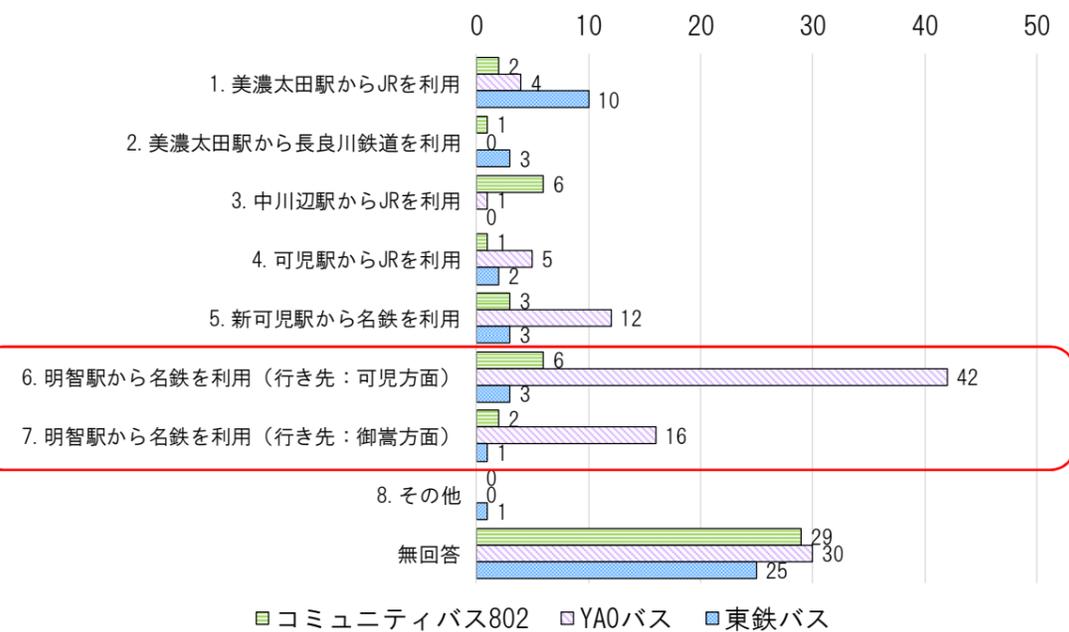
バスを利用する理由【合計】



問8 乗り継ぎ駅

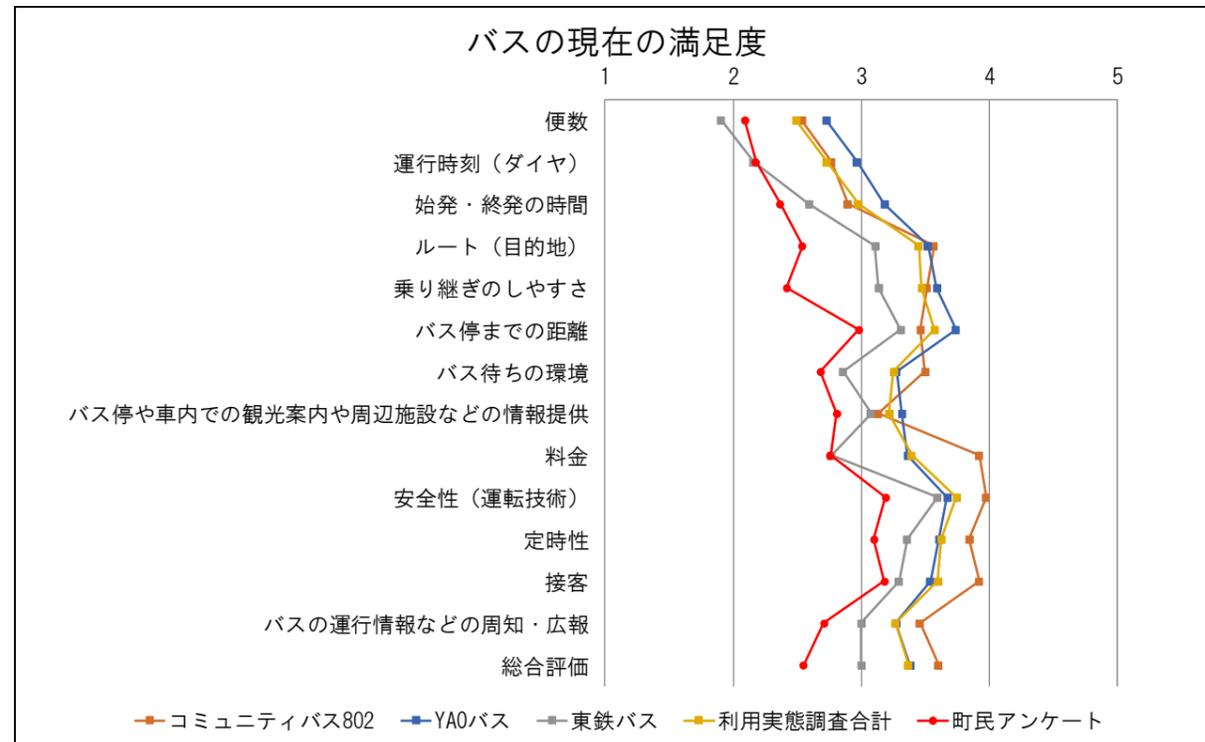
明智駅で名鉄に乗り継ぐ人が多い

乗り継ぎ駅【合計】

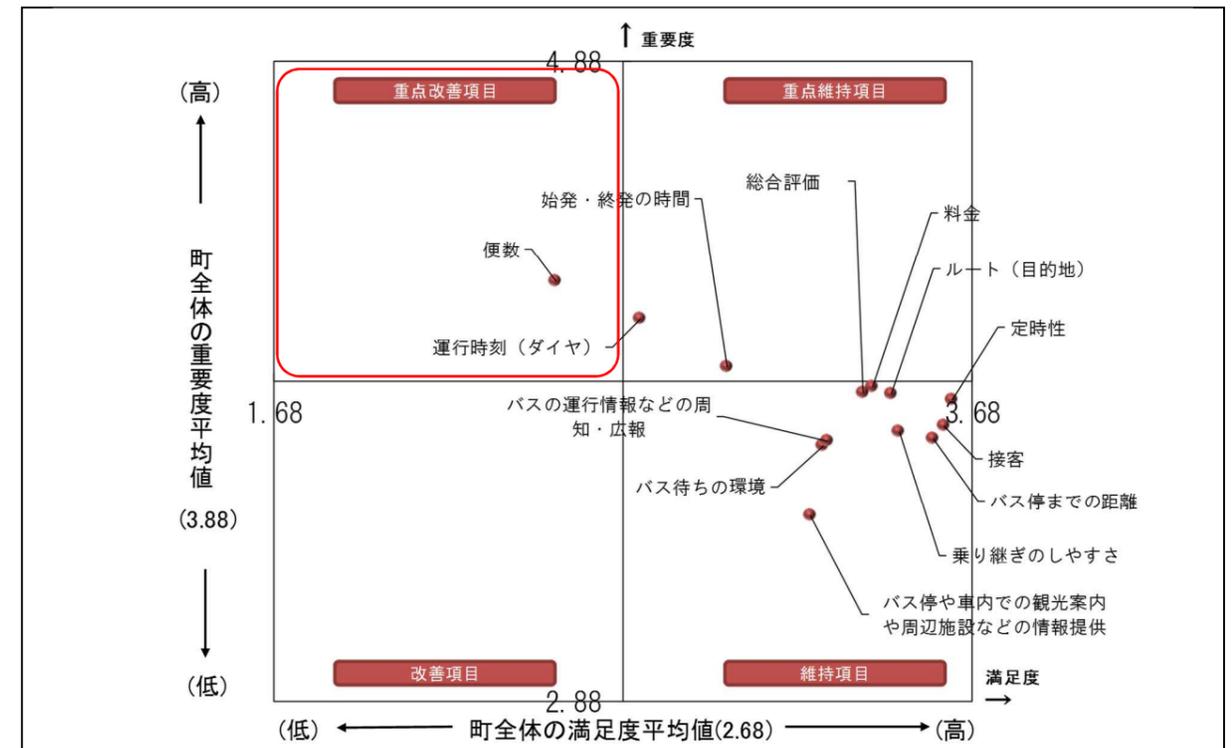


問9 バスの満足度と重要度

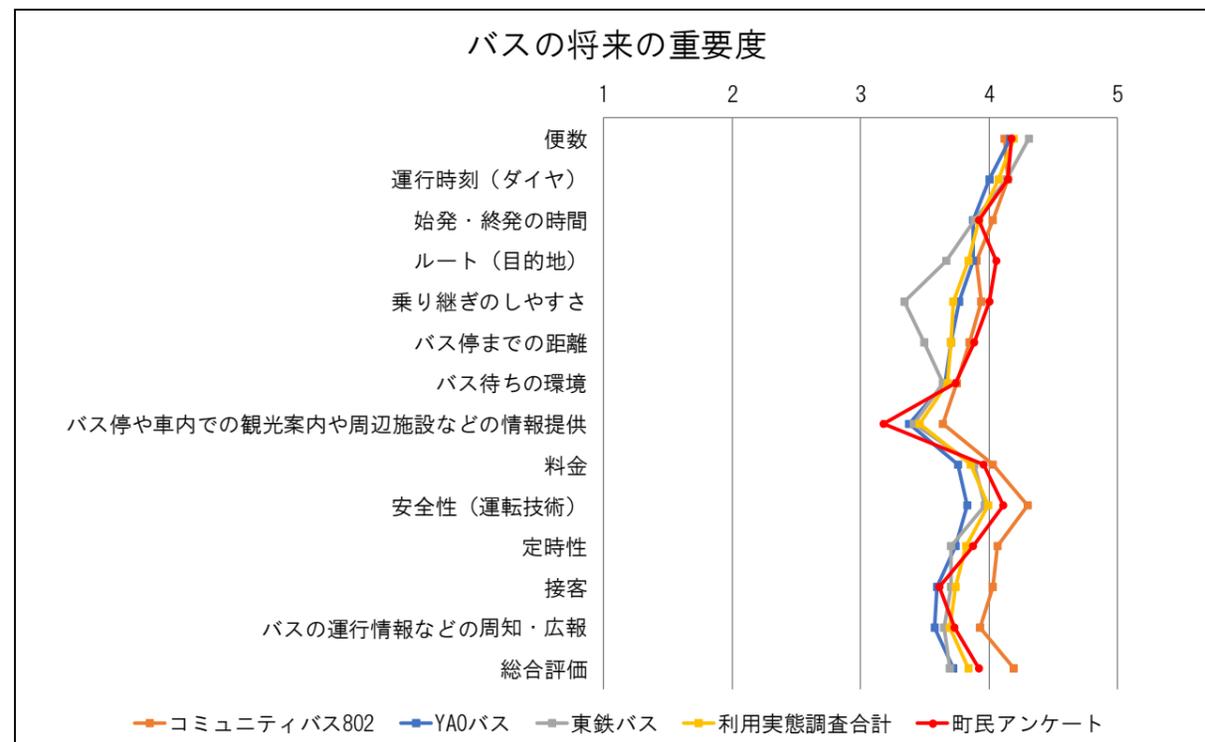
町民アンケートと比べ各路線とも傾向は同じだが、全体的に満足度は高い



ポートフォリオ分析では、重点改善項目は「便数」

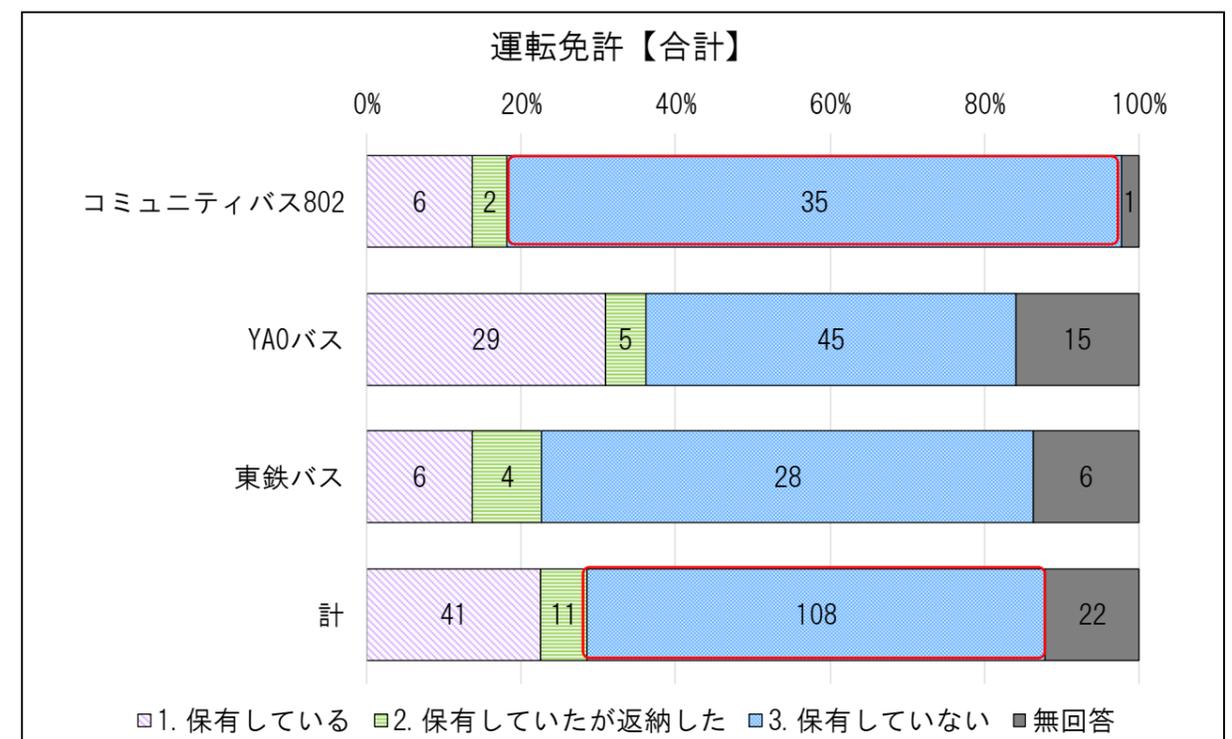


町民アンケートと比べ各路線とも傾向は同じで満足度ほど大きな違いはない



問13 運転免許の保有

運転免許を保有していない人が多数を占め、特にコミュニティバスで多い



### 3-3 八百津高校生アンケート（詳細は「参考資料5」参照）

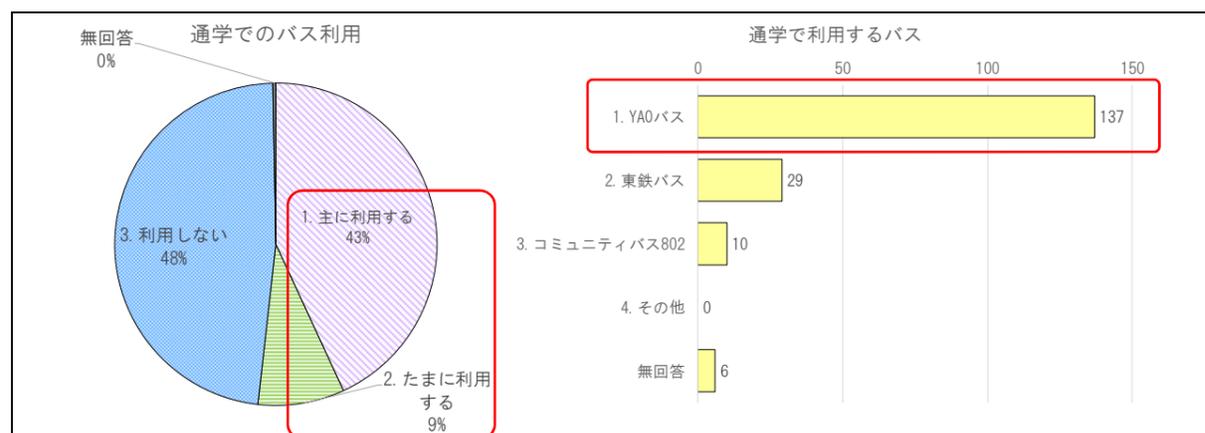
#### (1) アンケート実施概要

目的	八百津高校生における公共交通の利用状況の把握
調査対象	全生徒
期間	2018年7月12日(木)
調査方法	八百津高校の全生徒に先生経由で配布・回収
アンケート回収数	344通(1年生:117通、2年生:112通、3年生:105通)

#### (2) アンケート結果概要

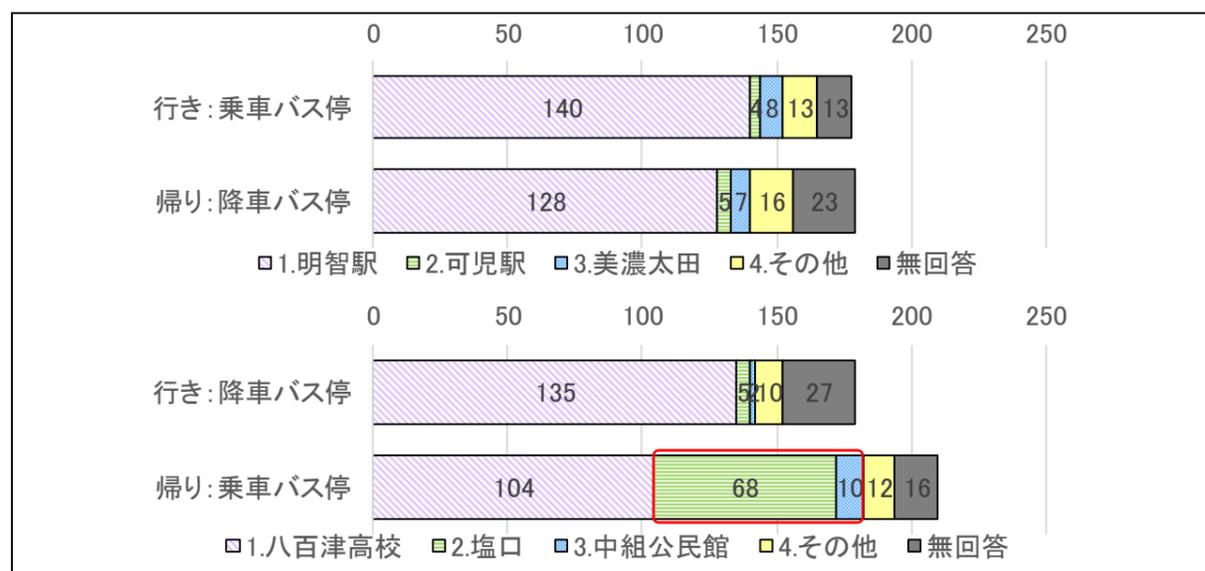
##### 問1 2 通学でのバス利用

約半数がバスを利用している 利用するバスはYAOバスが多い



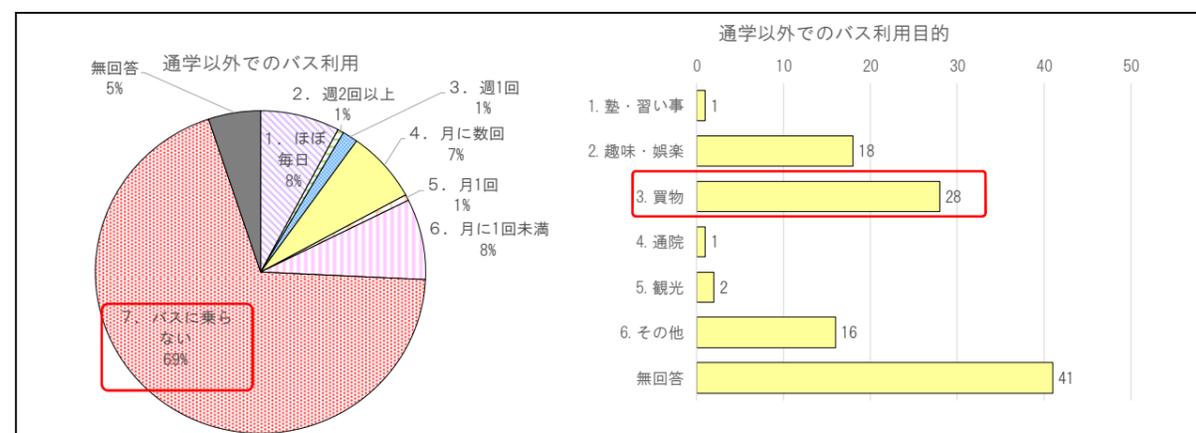
##### 問2 利用するバス停

帰りの乗車は八百津高校だけでなく塩口や中組公民館も利用されている



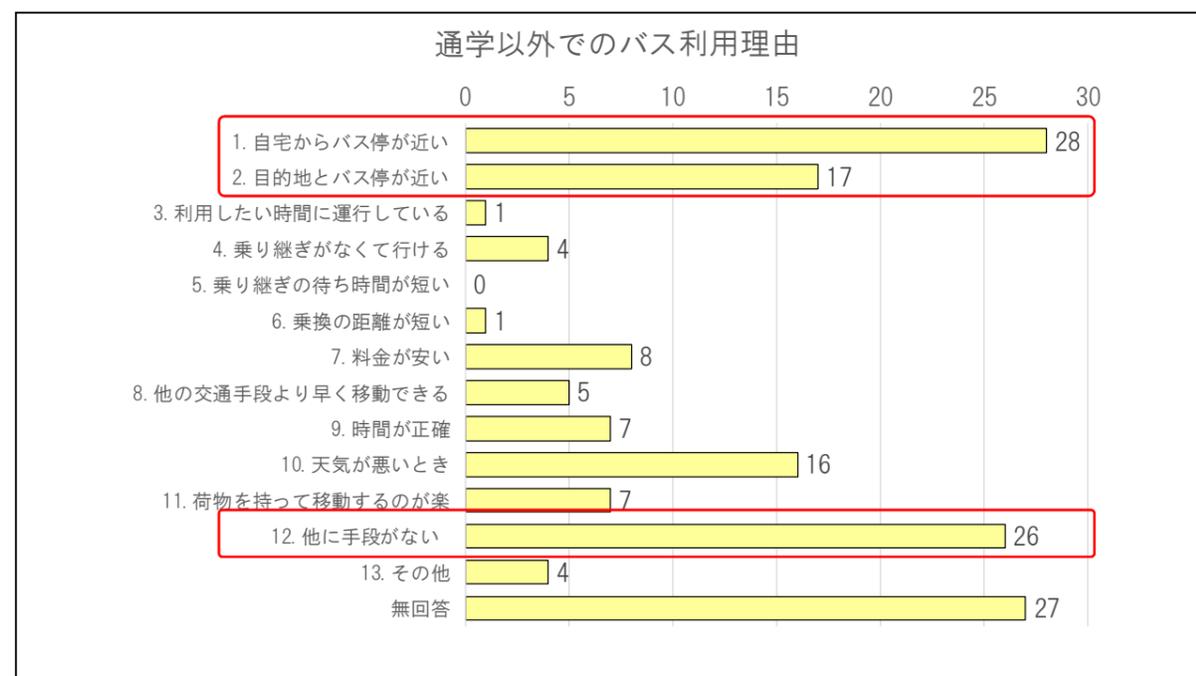
##### 問8 9 通学以外でのバス利用頻度と目的

通学以外ではバスの利用は少ない 利用目的は買物が多い



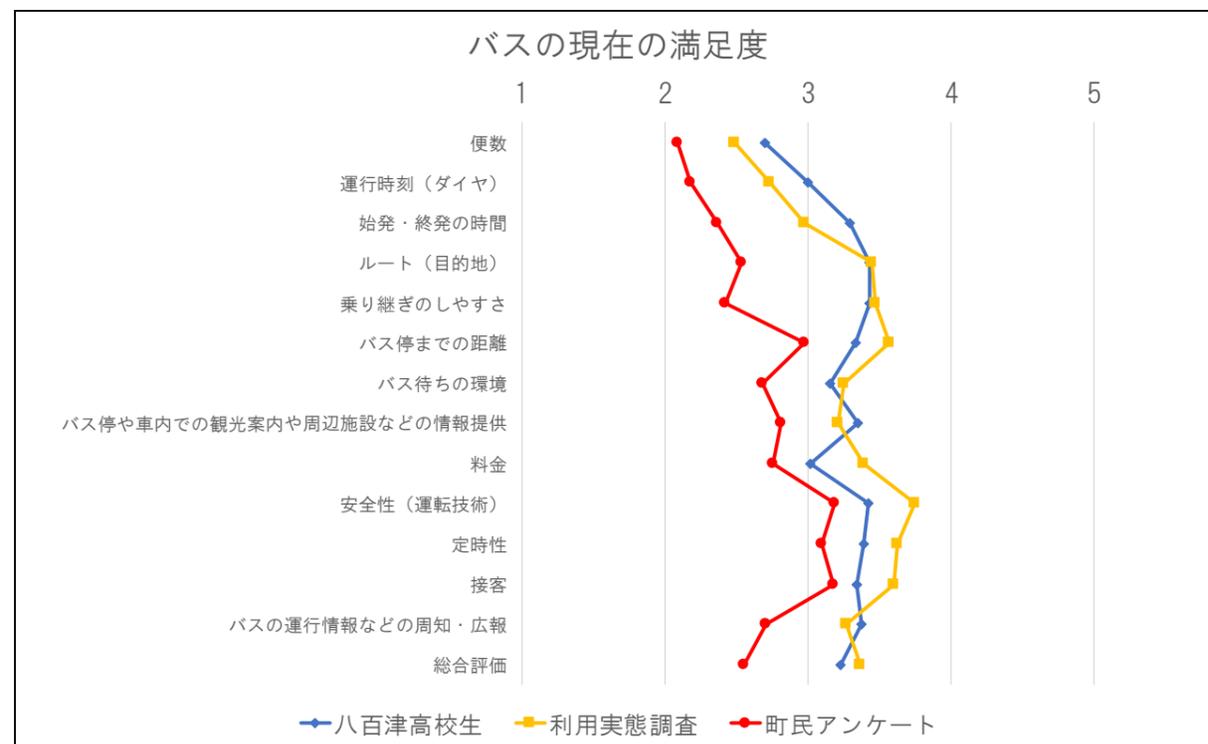
##### 問10 通学以外でのバス利用理由

バス停が近いこと、他に手段がないことから利用されている

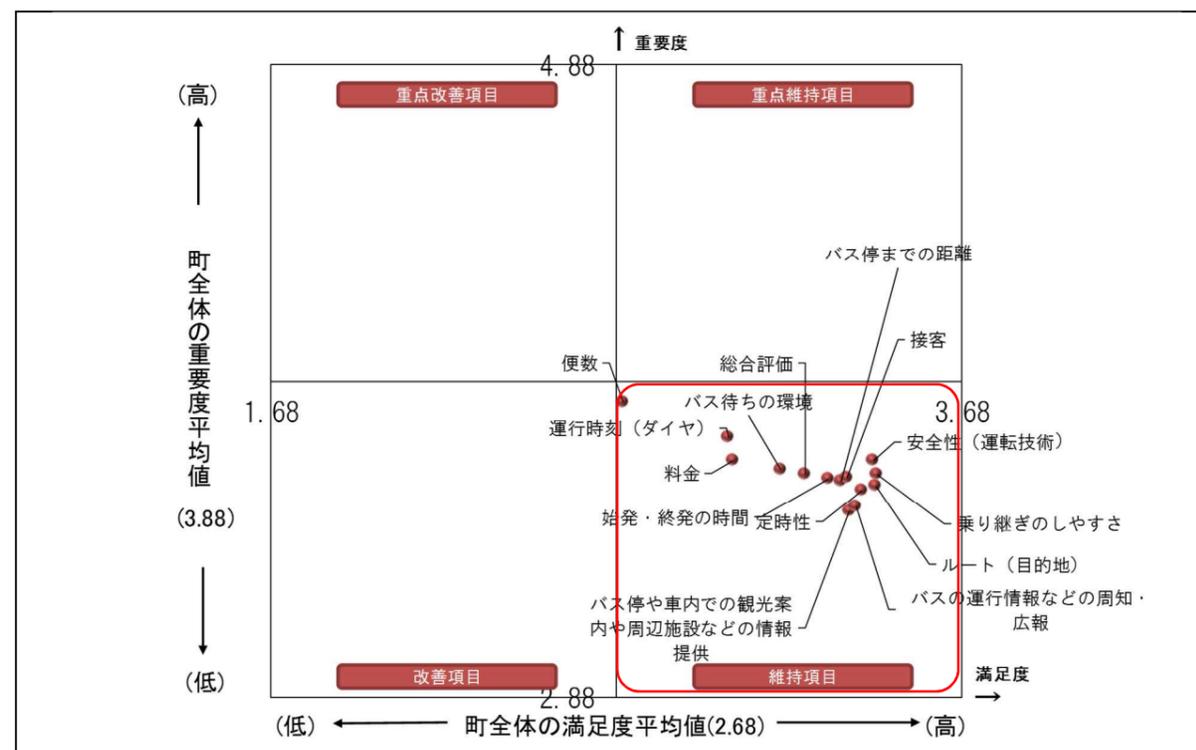


問14 バスの満足度と重要度

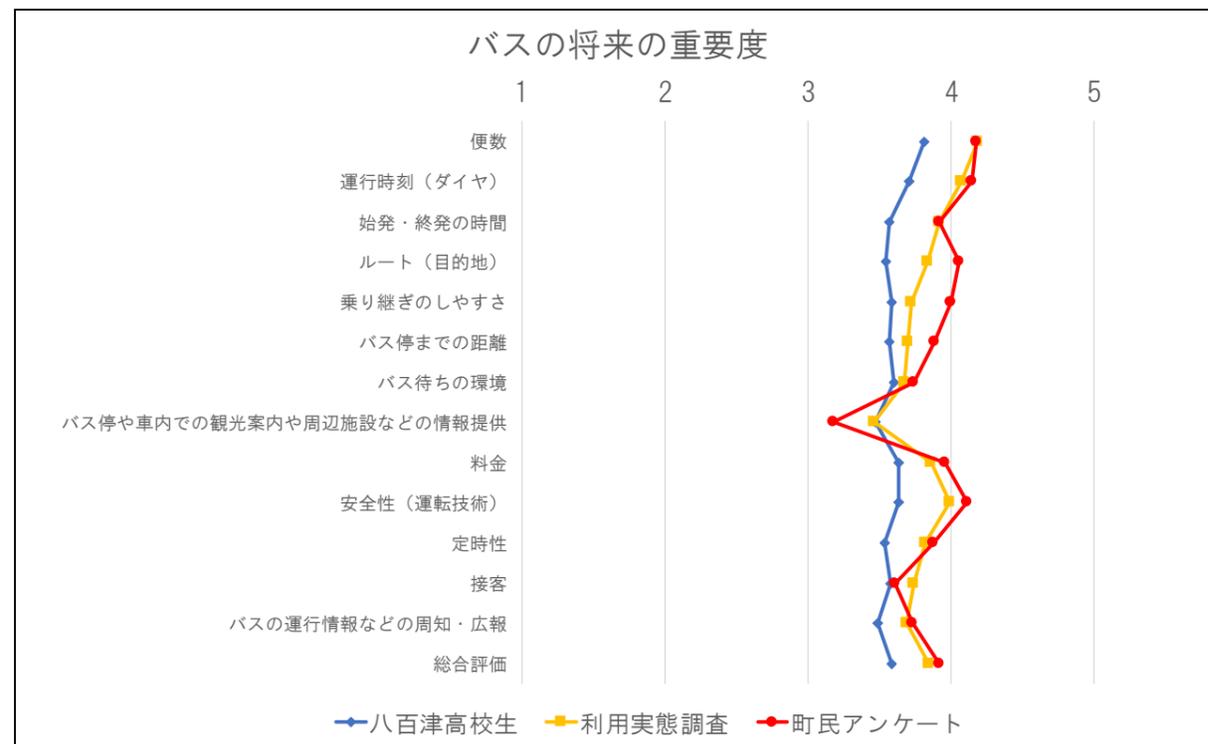
町民アンケートと比べ各路線とも傾向は同じだが、全体的に満足度は高い



町民アンケートより満足度が高く重要度が低いためすべて維持項目となる

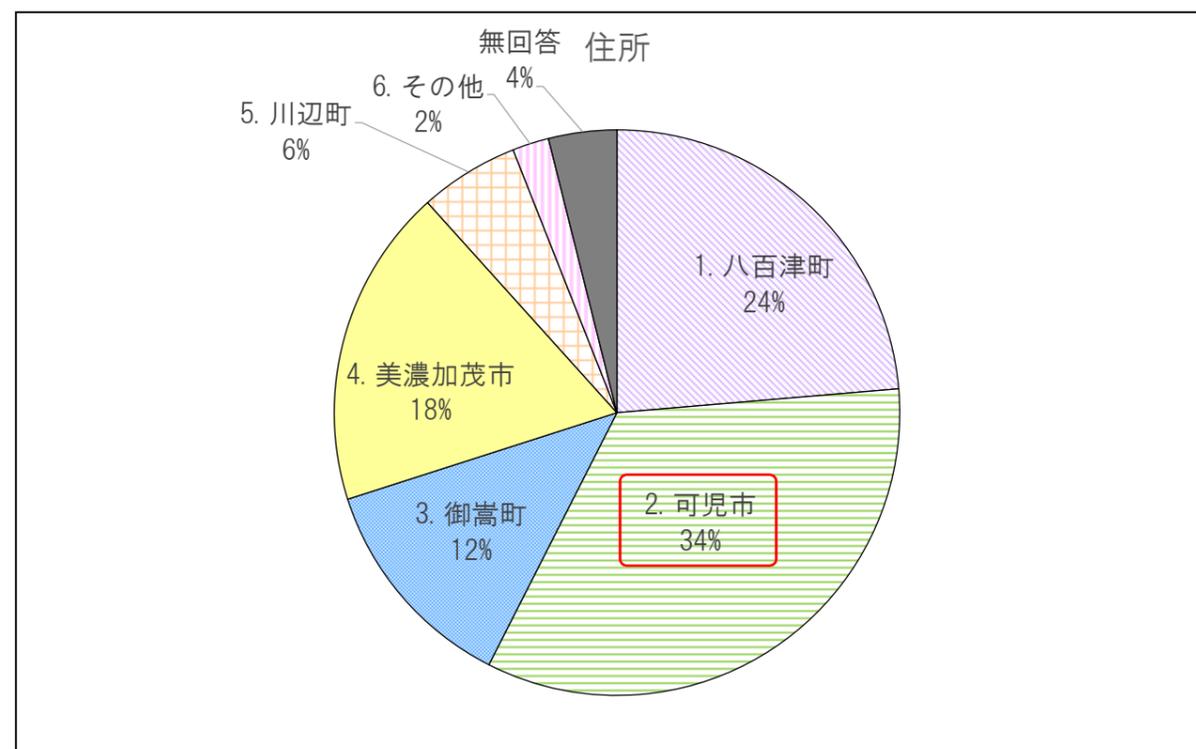


町民アンケートと比べ全体的に重要度が低く、項目の差が小さい



問16 居住地

可児市が約34%と最も多く、町内より隣接市町から通学している人が多い



### 3-4 観光来訪者アンケート（詳細は「参考資料6」参照）

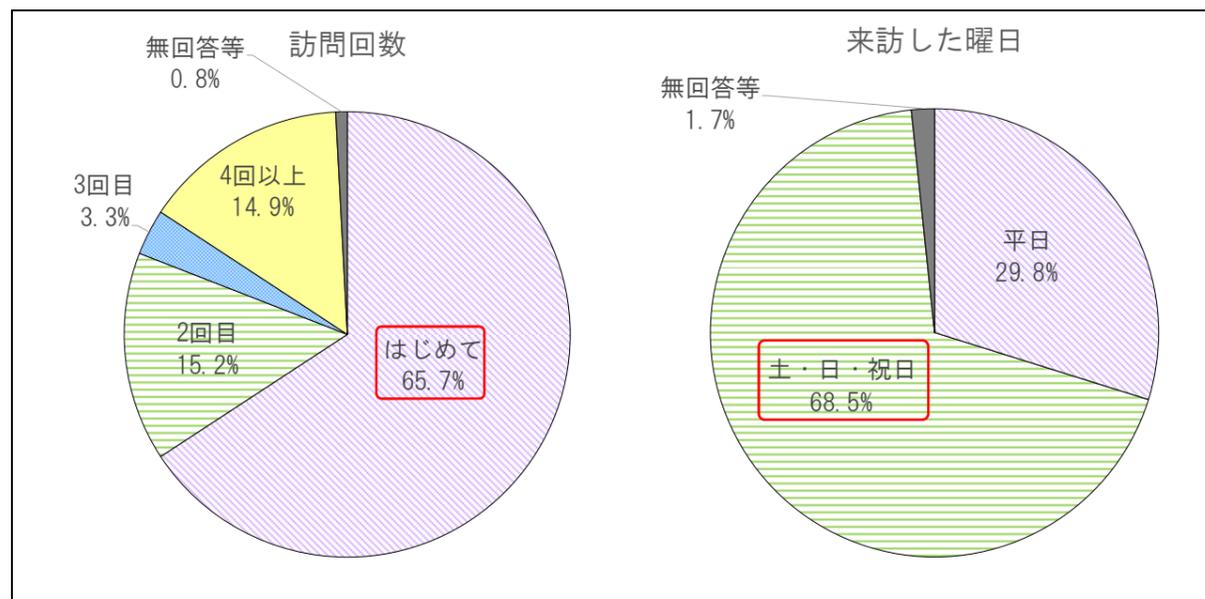
#### (1) アンケート実施概要

目的	八百津町への観光来訪者の状況及び公共交通利用の可能性を把握
調査対象	杉原千畝記念館来館者 本町商店街来訪者(4店舗)
期間	2018年7月15日(日)～8月 15日(水)[商店街] 20日(月)[杉原千畝記念館]
調査方法	手渡しによる配布と回収箱による回収
アンケート回収数 (8月16日時点)	[今回集計分] 杉原千畝記念館来館者:362通  [今回未集計分] 杉原千畝記念館来館者:195通(8月17日回収) 本町商店街来訪者:36通(8月17日回収)

#### (2) アンケート結果概要

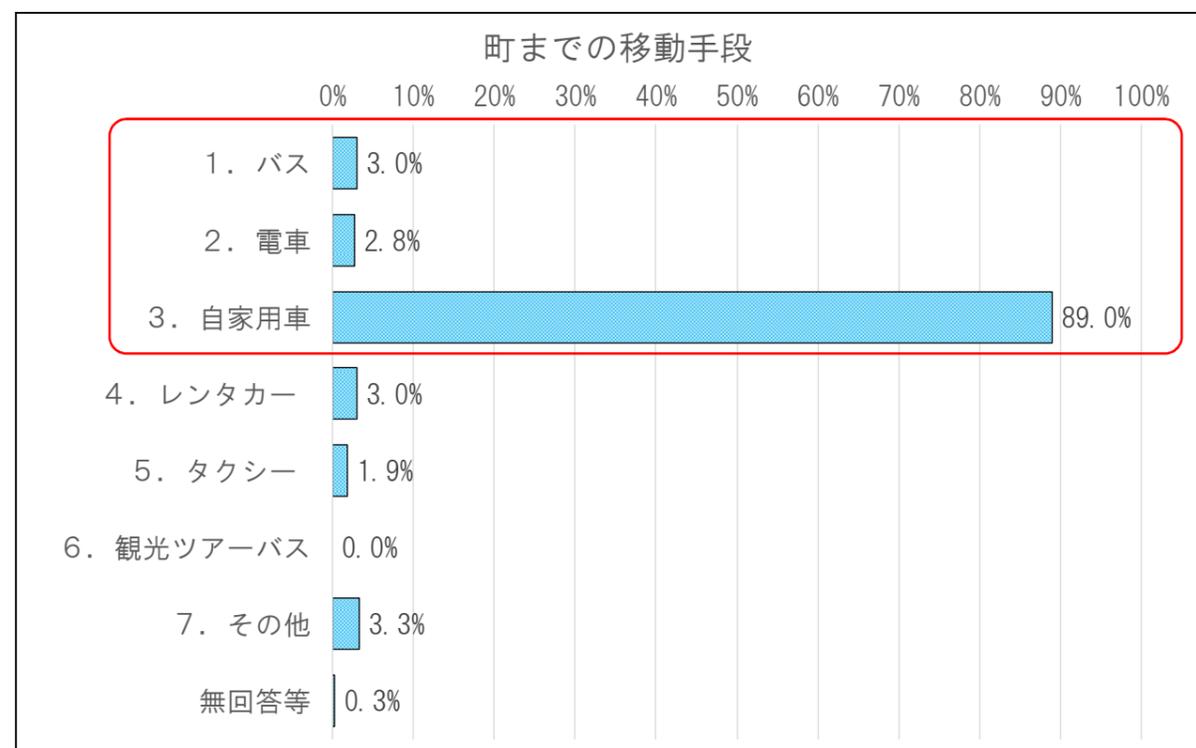
##### 問1 2 来訪回数と来訪した日

はじめて来訪する人が約66%と多いが4回以上のリピーターも約15%いる  
70%近くが休日に来訪



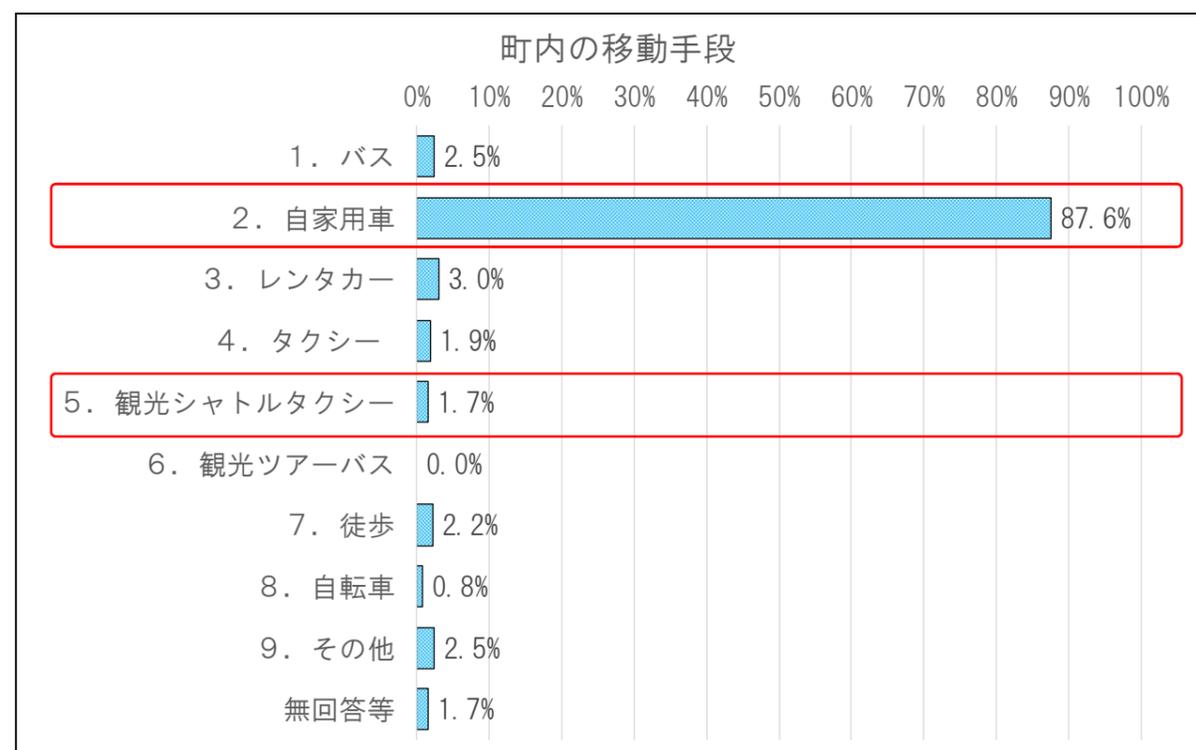
##### 問5 町までの移動手段

自家用車が約89% バス・電車はそれぞれ約3%と少ない



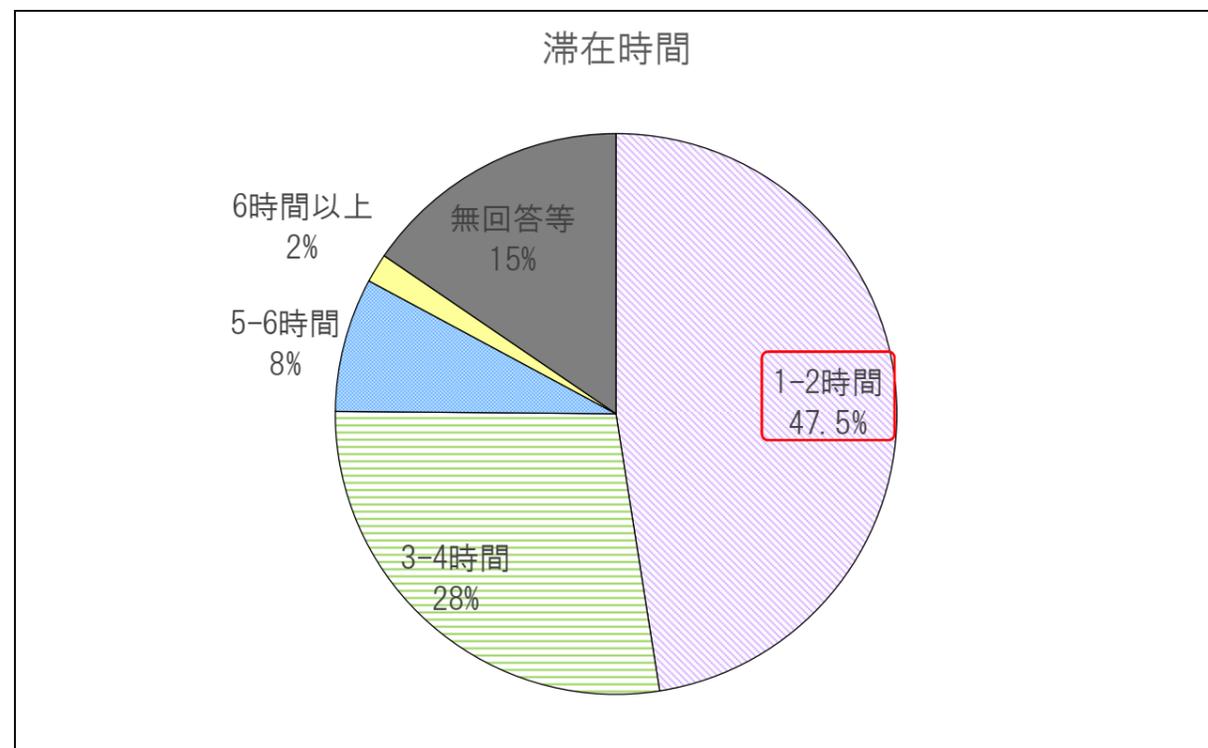
##### 問5 町内の移動手段

自家用車が約88% 観光シャトルタクシーも利用されている



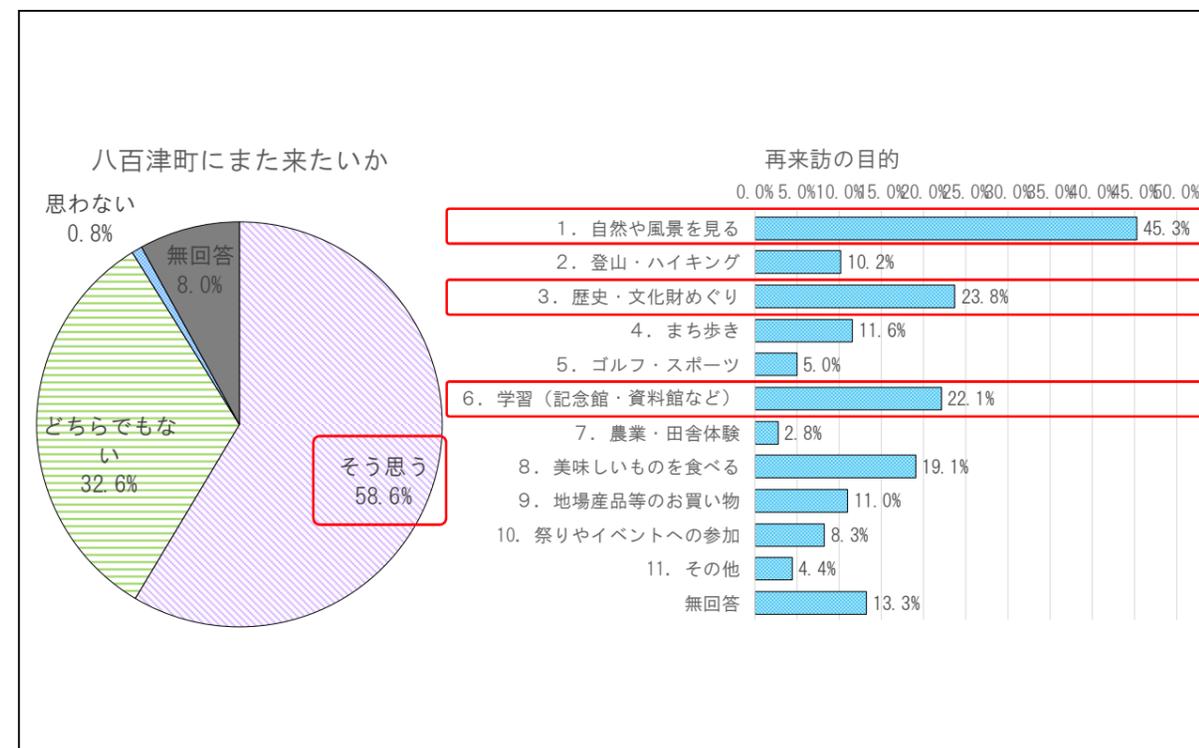
問8 滞在時間

1-2時間が多く、殆どが半日程度の滞在となる



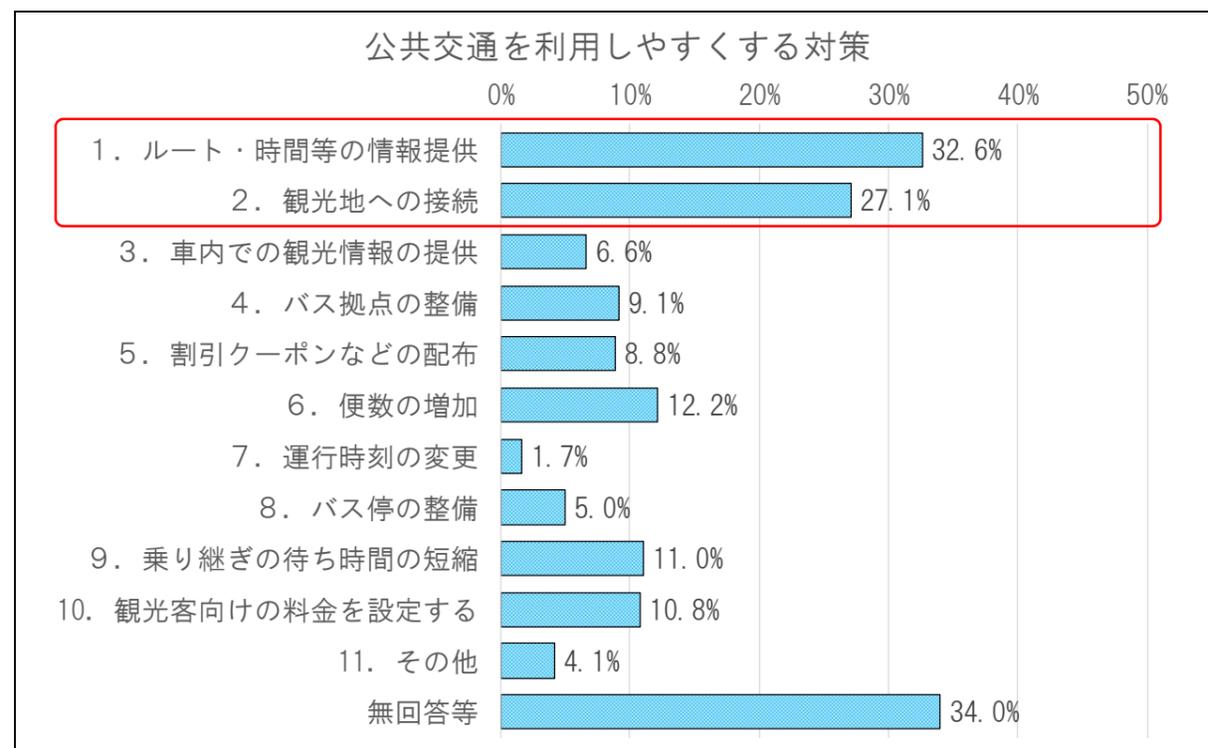
問12 13 八百津町への再来訪について

また来たい人は約59%、目的は「自然・風景」「歴史・文化」「学習」が多い



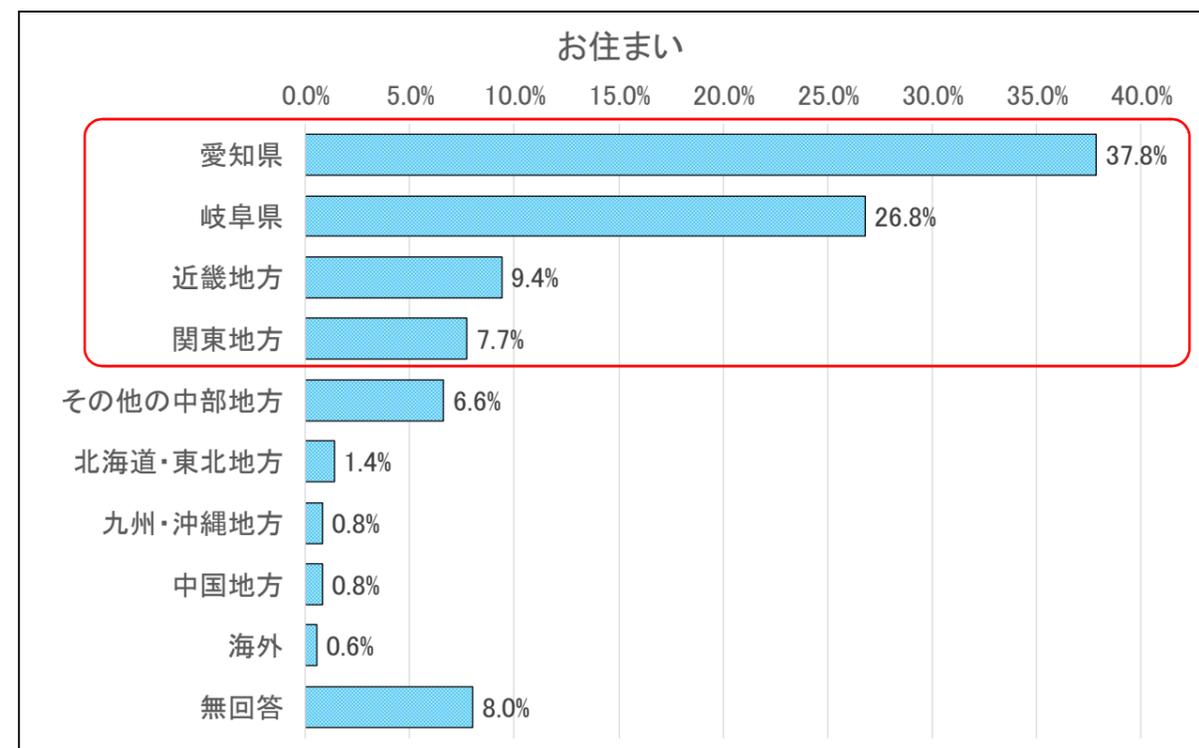
問10 公共交通を利用しやすくする対策

「情報提供」「観光地への接続」が求められている



問14 お住まい

愛知県が約38% 関東や近畿からの来訪者も見られる



# (1) 移動実態及びニーズの把握結果

## □ 関係機関ヒアリング

目的	交通事業者、福祉・医療・学校関係機関、NPO、八百津町役場内各関係課に対する聞き取り調査等を実施することにより、全体としての利用実態やニーズの把握
調査対象と実施日	<p>【交通事業者】 東濃鉄道：2018年8月7日 新太田タクシー：2018年8月7日</p> <p>【福祉・学校関係機関】 社会福祉協議会：2018年7月30日 医療機関：（郵送依頼） 八百津高校：2018年7月12日</p> <p>【NPO】 NPOやおつ：2018年8月20日</p> <p>【役場関係課】 教育課：2018年8月20日 健康福祉課：2018年8月20日</p>
調査方法	ヒアリング形式

## (2) その他

### □ 地域懇談会について

目的	地域ごとの公共交通の課題とニーズを把握
実施日	9/11(火)【福地地区】 福地出張所(2階和室) 9/12(水)【潮南地区】 潮南出張所(1階ホール) 9/13(木)【久田見地区】 久田見出張所(2階) 9/18(火)【和知地区】 和知出張所(2階研修室:和室横) 9/19(水)【八百津地区】 ファミリーセンター(大研修室) 9/20(木)【伊岐津志地区】 錦津出張所(2階3部屋)  ※概ね1.5~2時間程度を予定
方法	ワークショップ形式 (地区の現況等について説明した後、 班別でワークショップを実施、最後に班ごとに発表)

## (2) その他

---

### □ 地域懇談会の検討テーマ(案)

- みんなが外出で困っていることを考えよう！
- 公共交通の役割について考えよう！
- 利用しやすい公共交通にするにはどうするか考えよう！
- 公共交通を今後も維持していくために必要なことを考えよう！
- 公共交通を維持するためにみんなが出来ることを考えよう！

等